

第32回

大阪市債権回収対策会議

別 冊 資 料

【令和7年8月22日開催】

議題 1 令和 6 年度決算見込における未収債権の状況について

1 令和 6 年度決算見込における未収金の状況及び目標達成の状況

(1) 未収金残高の推移等

ア 未収金残高目標との比較主要債権別一覧 P3

イ 未収金残高目標との比較その他主要債権別一覧 P4

ウ 未収金残高目標との比較所属別一覧 P5

(2) 主要債権別の状況（令和 6 年度決算見込）

ア 令和 6 年度決算見込主要債権別の状況一覧 P6

イ 令和 6 年度決算見込所属別の状況一覧 P7

(3) 過年度未収金の解消に向けた方向性

ア 令和 5 年度決算時未収金残高（352億円）の徴収・整理状況グラフ P8

イ 令和 6 年度決算見込時未収金残高（過年度分233億円）の取組状況グラフ P9

注 本資料の計数に係る留意事項

- ・▲は減少額もしくは達成額を示しています。
- ・計数は、それぞれ四捨五入を行っているため、端数処理の関係上、合計と内訳等が一致しない場合があります。
- ・内訳の割合(%)は、千円単位で計算しているため、表内の計算で一致しない場合があります。

1 令和6年度決算見込における未収金の状況及び目標達成の状況

(1) 未収金残高の推移等

ア 未収金残高目標との比較主要債権別一覧

(単位:千円)

債権名	所属	令和5年度末 未収金残高	令和6年度末 未収金残高目標	令和6年度末 未収金残高見込	令和5年度末～ 令和6年度末 削減額	目標額との比較
		A	B	C	C-A	C-B
国民健康保険料	福祉局	10,034,907	10,030,088	11,467,587	1,432,680	1,437,499
市 税	財政局	8,898,620	8,492,998	8,281,126	▲ 617,494	▲ 211,872
生活保護費返還金	福祉局	8,711,696	8,647,970	8,477,630	▲ 234,066	▲ 170,340
介護保険料	福祉局	1,344,664	1,340,057	1,398,817	54,153	58,760
住宅使用料	都市整備局	368,780	364,516	383,726	14,946	19,210
保育所保育料	こども青少年局	192,681	156,567	137,326	▲ 55,355	▲ 19,241
その他の債権	—	5,632,523	4,603,316	5,564,969	▲ 67,554	961,653
合 計	—	35,183,871	33,635,512	35,711,181	527,310	2,075,669

【 内 訳 】

一 般 会 計	21,552,485	20,234,999	20,566,002	▲ 986,483	331,003
特 別 会 計	13,631,386	13,400,513	15,145,179	1,513,793	1,744,666

▲は減少額もしくは達成額

イ 未収金残高目標との比較その他主要債権別一覧

(単位:千円)

債権名	所属	令和5年度末 未収金残高 A	令和6年度末 未収金残高目標 B	令和6年度末 未収金残高見込 C	令和5年度末～ 令和6年度末 削減額 C-A	目標額との比較 C-B
後期高齢者医療保険料	福祉局	456,553	431,157	510,592	54,039	79,435
生活保護法指定医療機関等返還金		458,254	91,271	457,630	▲ 624	366,359
国民健康保険料(不現住)		143,769	176,155	148,231	4,462	▲ 27,924
国民健康保険給付費返還金		409,899	267,632	395,891	▲ 14,008	128,259
介護保険給付費不正・不当利得返還金及び加算金		120,827	112,574	201,654	80,827	89,080
大学奨学費貸付金返還金収入		31,585	27,224	29,348	▲ 2,237	2,124
居宅介護給付費返還金(居宅生活支援費返還金)		62,519	35,473	63,044	525	27,571
土地賃貸料	契約管財局	71,132	70,192	56,381	▲ 14,751	▲ 13,811
母子父子寡婦福祉貸付金	こども青少年局	595,646	582,510	573,391	▲ 22,255	▲ 9,119
児童扶養手当返還金		190,184	181,587	194,568	4,384	12,981
児童福祉施設徴収金		106,420	106,316	109,616	3,196	3,300
霊園手数料	環境局	12,122	12,006	11,953	▲ 169	▲ 53
不正入居等損害金(都市営住宅)	都市整備局	961,469	956,519	973,761	12,292	17,242
下水道使用料	建設局	169,708	168,723	171,407	1,699	2,684
土地賃貸料(一般会計)	大阪港湾局	141,105	134,555	136,501	▲ 4,604	1,946
土地賃貸料相当損害金等		82,543	76,727	76,754	▲ 5,789	27
給水料	水道局	111,409	104,763	133,593	22,184	28,830
学校給食費	教育委員会 事務局	97,291	83,637	89,684	▲ 7,607	6,047
高等学校等奨学金貸付金返還金		39,088	34,421	37,794	▲ 1,294	3,373

▲は減少額もしくは達成額

ウ 未収金残高目標との比較所属別一覧

(単位:千円)

所 属	令和5年度末 未収金残高	令和6年度末 未収金残高目標	令和6年度末 未収金残高見込	令和5年度末～ 令和6年度末 削減額	目標額との比較
	A	B	C	C-A	C-B
総 務 局	2,174	1,911	2,094	▲ 80	183
区 役 所	3,517	982	6,121	2,604	5,139
経 済 戦 略 局	103,383	100,089	98,488	▲ 4,895	▲ 1,601
中 央 卸 売 市 場	7,318	6,641	8,286	968	1,645
市 民 局	6,163	6,205	8,091	1,928	1,886
財 政 局	8,899,084	8,493,092	8,281,831	▲ 617,253	▲ 211,261
契 約 管 財 局	77,631	70,192	62,958	▲ 14,673	▲ 7,234
福 祉 局	22,505,231	21,612,526	23,803,173	1,297,942	2,190,647
健 康 局	1,014	964	5,657	4,643	4,693
こ ど も 青 少 年 局	1,209,209	1,132,122	1,163,770	▲ 45,439	31,648
環 境 局	16,606	15,410	16,941	335	1,531
都 市 整 備 局	1,372,720	1,363,001	1,398,793	26,073	35,792
建 設 局	281,242	184,911	254,015	▲ 27,227	69,104
大 阪 港 湾 局	254,247	236,279	252,737	▲ 1,510	16,458
消 防 局	492	332	589	97	257
水 道 局	243,370	232,951	156,367	▲ 87,003	▲ 76,584
教 育 委 員 会 事 務 局	200,470	177,904	191,270	▲ 9,200	13,366
合 計	35,183,871	33,635,512	35,711,181	527,310	2,075,669

▲は減少額もしくは達成額

(2) 主要債権別の状況（令和6年度決算見込）

ア 令和6年度決算見込主要債権別の状況一覧

（参考）

上段：令和6年度

参考 下段（ ）：令和5年度

（単位：千円）

	所属	令和6年度当初 未収金残高 【過年度分】	徴収済額 【過年度分】	不納欠損処分等※ 【過年度分】	未収金残高 【過年度分】	現年度賦課分 未収金	決算見込未収金計	削減額	削減率
		A	B	C	D=A-B-C	E	F=D+E	G=F-A	H=G/A
国民健康保険料	福祉局	10,034,907 (9,622,337)	2,229,473 (2,349,200)	2,486,258 (2,310,897)	5,319,176 (4,962,240)	6,148,411 (5,072,667)	11,467,587 (10,034,907)	1,432,680 (412,570)	14.3% (4.3%)
市税	財政局	8,898,620 (9,556,426)	2,936,703 (3,116,259)	1,178,424 (1,368,884)	4,783,493 (5,071,283)	3,497,633 (3,827,337)	8,281,126 (8,898,620)	▲ 617,494 (▲ 657,806)	▲ 6.9% (▲ 6.9%)
生活保護費返還金	福祉局	8,711,696 (8,803,940)	318,646 (312,227)	605,930 (637,418)	7,787,120 (7,854,295)	690,510 (857,401)	8,477,630 (8,711,696)	▲ 234,066 (▲ 92,244)	▲ 2.7% (▲ 1.0%)
介護保険料	福祉局	1,344,664 (1,441,139)	229,974 (249,081)	435,289 (465,651)	679,401 (726,407)	719,416 (618,257)	1,398,817 (1,344,664)	54,153 (▲ 96,475)	4.0% (▲ 6.7%)
住宅使用料	都市 整備局	368,780 (368,722)	119,371 (119,775)	16,226 (20,487)	233,183 (228,460)	150,543 (140,320)	383,726 (368,780)	14,946 (58)	4.1% (0.0%)
保育所保育料	こども 青少年局	192,681 (188,556)	99,889 (94,950)	16,466 (17,808)	76,326 (75,798)	61,000 (116,883)	137,326 (192,681)	▲ 55,355 (4,125)	▲ 28.7% (2.2%)
その他の債権	—	5,632,523 (5,705,020)	603,314 (690,829)	568,207 (223,820)	4,461,002 (4,790,371)	1,103,967 (842,152)	5,564,969 (5,632,523)	▲ 67,554 (▲ 72,497)	▲ 1.2% (▲ 1.3%)
合計	—	35,183,871 (35,686,140)	6,537,370 (6,932,321)	5,306,800 (5,044,965)	23,339,701 (23,708,854)	12,371,480 (11,475,017)	35,711,181 (35,183,871)	527,310 (▲ 502,269)	1.5% (▲ 1.4%)
【内訳】									
一般会計	—	21,552,485 (22,307,419)	3,632,004 (3,856,997)	2,037,315 (2,037,810)	15,883,166 (16,412,612)	4,682,836 (5,139,873)	20,566,002 (21,552,485)	▲ 986,483 (▲ 754,934)	▲ 4.6% (▲ 3.4%)
特別会計 ※公営会計含む	—	13,631,386 (13,378,721)	2,905,366 (3,075,324)	3,269,485 (3,007,155)	7,456,535 (7,296,242)	7,688,644 (6,335,144)	15,145,179 (13,631,386)	1,513,793 (252,665)	11.1% (1.9%)

▲は減少額もしくは減少率

※ 不納欠損処分等…不納欠損処分及び調定変更による増減の額

イ 令和6年度決算見込所属別の状況一覧

(参考)

上段:令和6年度
参考 下段():令和5年度

(単位:千円)

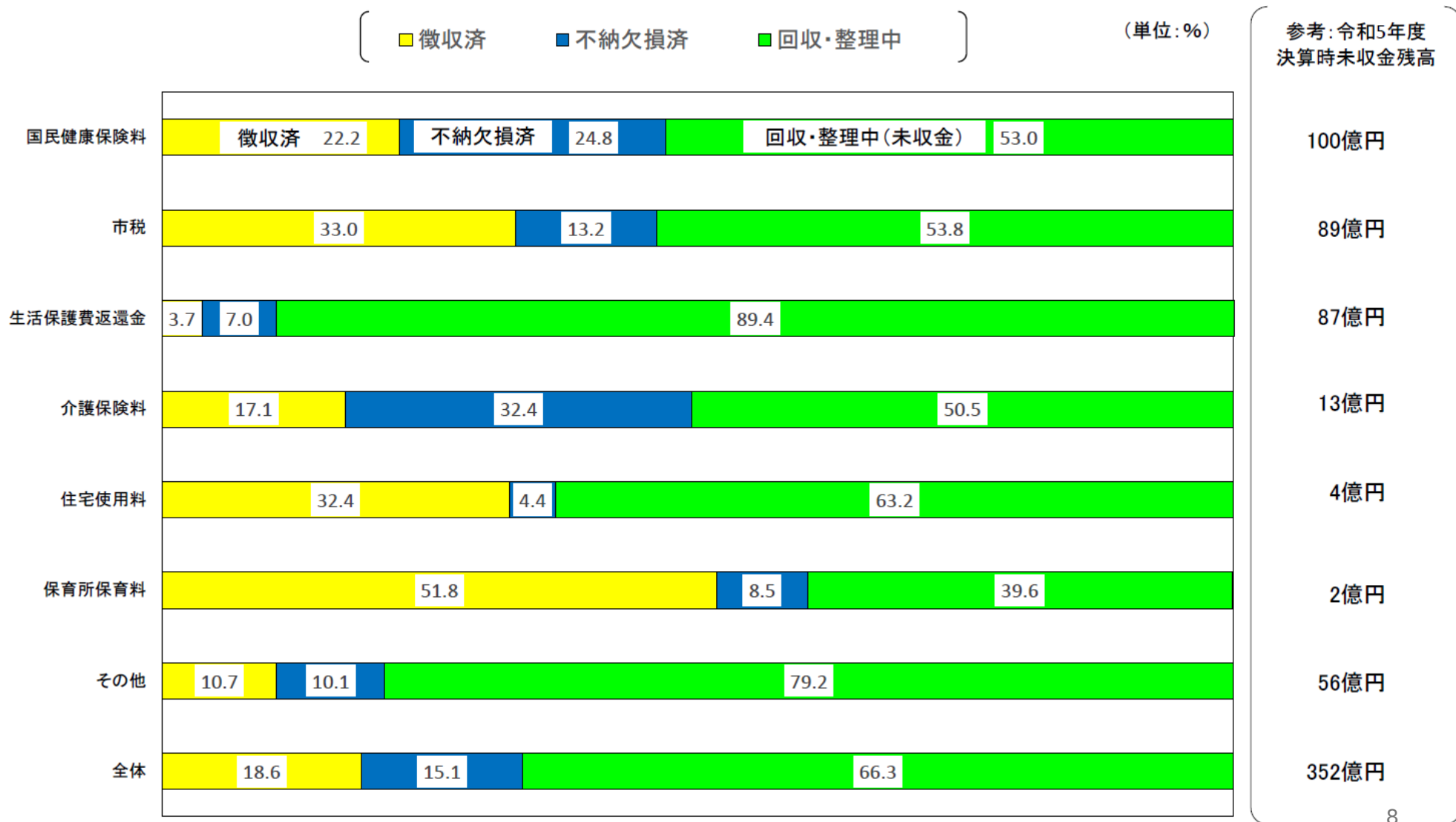
所 属	令和6年度当初 未収金残高 【過年度分】 A	徴収済額 【過年度分】 B	不納欠損処分等※ 【過年度分】 C	未収金残高 【過年度分】 D=A-B-C	現年度賦課分 未収金 E	決算見込未収金計 F=D+E	削減額 G=F-A	削減率 H=G/A
総 務 局	2,174 (2,250)	80 (0)	0 (76)	2,094 (2,174)	0 (0)	2,094 (2,174)	▲ 80 (▲ 76)	▲ 3.7% (▲ 3.4%)
区 役 所	3,517 (21,141)	699 (18,622)	0 (0)	2,818 (2,519)	3,303 (998)	6,121 (3,517)	2,604 (▲ 17,624)	74.0% (▲ 83.4%)
経 済 戦 略 局	103,383 (111,634)	9,348 (9,965)	1 (632)	94,034 (101,037)	4,454 (2,346)	98,488 (103,383)	▲ 4,895 (▲ 8,251)	▲ 4.7% (▲ 7.4%)
中 央 卸 売 市 場	7,318 (6,434)	475 (1,135)	485 (602)	6,358 (4,697)	1,928 (2,621)	8,286 (7,318)	968 (884)	13.2% (13.7%)
市 民 局	6,163 (5,774)	709 (1,028)	211 (▲ 515)	5,243 (5,261)	2,848 (902)	8,091 (6,163)	1,928 (389)	31.3% (6.7%)
財 政 局	8,899,084 (9,558,021)	2,936,710 (3,117,349)	1,178,576 (1,368,980)	4,783,798 (5,071,692)	3,498,033 (3,827,392)	8,281,831 (8,899,084)	▲ 617,253 (▲ 658,937)	▲ 6.9% (▲ 6.9%)
契 約 管 財 局	77,631 (82,240)	19,021 (17,192)	5,885 (0)	52,725 (65,048)	10,233 (12,583)	62,958 (77,631)	▲ 14,673 (▲ 4,609)	▲ 18.9% (▲ 5.6%)
福 祉 局	22,505,231 (22,235,315)	3,043,189 (3,212,105)	3,895,163 (3,525,376)	15,566,879 (15,497,834)	8,236,294 (7,007,397)	23,803,173 (22,505,231)	1,297,942 (269,916)	5.8% (1.2%)
健 康 局	1,014 (1,213)	84 (250)	▲ 111 (25)	1,041 (938)	4,616 (76)	5,657 (1,014)	4,643 (▲ 199)	457.9% (▲ 16.4%)
こ ど も 青 少 年 局	1,209,209 (1,202,555)	166,376 (159,803)	40,284 (35,733)	1,002,549 (1,007,019)	161,221 (202,190)	1,163,770 (1,209,209)	▲ 45,439 (6,654)	▲ 3.8% (0.6%)
環 境 局	16,606 (17,793)	3,546 (3,000)	1,225 (2,268)	11,835 (12,525)	5,106 (4,081)	16,941 (16,606)	335 (▲ 1,187)	2.0% (▲ 6.7%)
都 市 整 備 局	1,372,720 (1,368,224)	144,263 (146,319)	38,605 (42,861)	1,189,852 (1,179,044)	208,941 (193,676)	1,398,793 (1,372,720)	26,073 (4,496)	1.9% (0.3%)
建 設 局	281,242 (282,185)	148,695 (135,602)	9,707 (19,069)	122,840 (127,514)	131,175 (153,728)	254,015 (281,242)	▲ 27,227 (▲ 943)	▲ 9.7% (▲ 0.3%)
大 阪 港 湾 局	254,247 (256,361)	3,433 (4,620)	10,987 (0)	239,827 (251,741)	12,910 (2,506)	252,737 (254,247)	▲ 1,510 (▲ 2,114)	▲ 0.6% (▲ 0.8%)
消 防 局	492 (418)	0 (86)	0 (0)	492 (332)	97 (160)	589 (492)	97 (74)	19.7% (17.7%)
水 道 局	243,370 (267,012)	50,345 (72,961)	121,668 (12,046)	71,357 (182,005)	85,010 (61,365)	156,367 (243,370)	▲ 87,003 (▲ 23,642)	▲ 35.7% (▲ 8.9%)
教 育 委 員 会 事 務 局	200,470 (218,567)	10,397 (18,067)	4,114 (3,026)	185,959 (197,474)	5,311 (2,996)	191,270 (200,470)	▲ 9,200 (▲ 18,097)	▲ 4.6% (▲ 8.3%)
合 計	35,183,871 (35,637,137)	6,537,370 (6,918,104)	5,306,800 (5,010,179)	23,339,701 (23,708,854)	12,371,480 (11,475,017)	35,711,181 (35,183,871)	527,310 (▲ 453,266)	1.5% (▲ 1.3%)

▲は減少額もしくは減少率

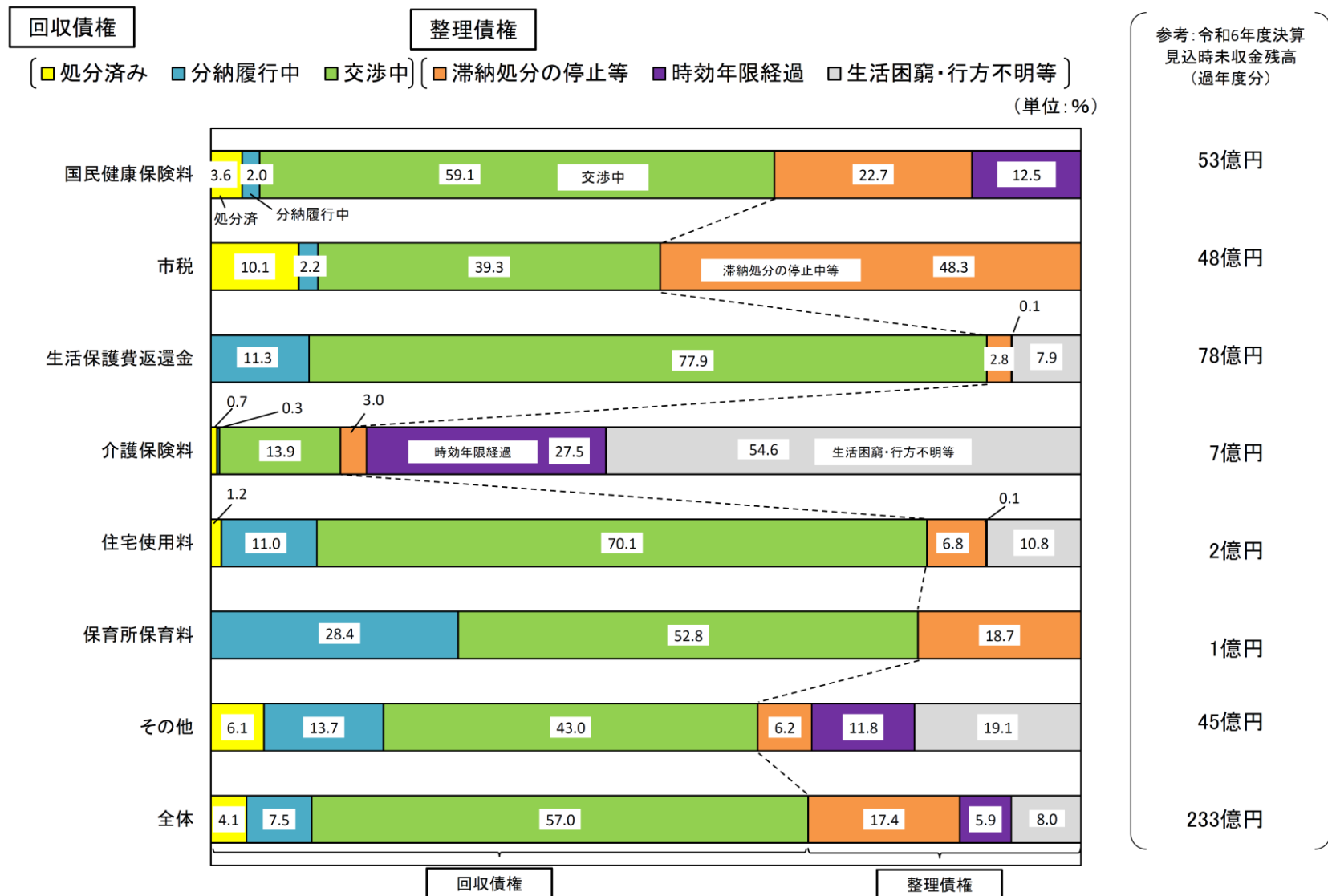
※ 不納欠損処分等…不納欠損処分及び調定変更による増減の額

(3) 過年度未収金の解消に向けた方向性

ア 令和5年度決算時未収金残高(352億円)の徴収・整理状況グラフ



イ 令和6年度決算見込時未収金残高（過年度分233億円）の取組状況グラフ



議題 2 令和 7 年度目標の設定等について

2 未収金残高目標

- (1) 令和 7 年度未収金残高目標主要債権別一覧 P11
- (2) 令和 7 年度未収金残高目標その他主要債権別一覧 P12
- (3) 令和 7 年度未収金残高目標所属別一覧 P13

2 未収金残高目標

(1) 令和7年度未収金残高目標主要債権別一覧

(単位:千円)

債権名	所属	令和5年度末 未収金残高	令和6年度末 未収金残高見込	令和7年度末 未収金残高目標	令和8年度末 未収金残高 (計画)	(参考)令和7年度末 未収金残高 (当初計画)
国民健康保険料	福祉局	10,034,907	11,467,587	11,251,577	8,065,986	8,437,733
市 税	財政局	8,898,620	8,281,126	8,200,692	7,665,899	8,263,812
生活保護費返還金	福祉局	8,711,696	8,477,630	8,378,699	8,495,114	8,631,627
介護保険料	福祉局	1,344,664	1,398,817	1,398,772	1,376,173	1,387,767
住宅使用料	都市整備局	368,780	383,726	377,046	360,193	361,418
保育所保育料	こども青少年局	192,681	137,326	116,247	112,896	140,601
その他の債権	—	5,632,523	5,564,969	4,507,633	4,145,568	4,281,984
合 計	—	35,183,871	35,711,181	34,230,666	30,221,829	31,504,942

【 内 訳 】

一 般 会 計	21,552,485	20,566,002	19,621,775	19,048,648	19,880,231
特 別 会 計	13,631,386	15,145,179	14,608,891	11,173,181	11,624,711

(2) 令和7年度未収金残高目標その他主要債権別一覧

(単位:千円)

債権名	所属	令和5年度末 未収金残高	令和6年度末 未収金残高見込	令和7年度末 未収金残高目標	令和8年度末 未収金残高 (計画)	(参考)令和7年度末 未収金残高 (当初計画)
後期高齢者医療保険料	福祉局	456,553	510,592	493,477	400,911	402,095
生活保護法指定 医療機関等返還金		458,254	457,630	90,474	83,141	87,427
国民健康保険料(不現住)		143,769	148,231	170,893	176,878	182,637
国民健康保険給付費 返還金		409,899	395,891	243,217	228,753	240,475
介護保険給付費不正・不当利得 返還金及び加算金		120,827	201,654	128,007	59,917	70,968
大学奨学金貸付金入 返還金		31,585	29,348	27,409	26,729	26,776
居宅介護給付費返還金 (居宅生活支援費返還金)		62,519	63,044	62,324	34,033	34,753
土地賃貸料	契約管財局	71,132	56,381	55,171	65,409	69,597
母子父子寡婦福祉貸付金	こども青少年局	595,646	573,391	561,717	543,049	557,137
児童扶養手当返還金		190,184	194,568	190,485	183,286	184,717
児童福祉施設徴収金		106,420	109,616	108,890	94,209	94,531
霊園手数料	環境局	12,122	11,953	11,785	12,321	12,707
不正入居等損害金 (市営住宅)	都市整備局	961,469	973,761	945,633	936,858	943,746
下水道使用料	建設局	169,708	171,407	165,874	171,098	175,619
土地賃貸料 (一般会計)	大阪港湾局	141,105	136,501	133,425	133,374	133,607
土地賃貸料相当損害金等		82,543	76,754	76,525	76,437	76,437
給水料	水道局	111,409	133,593	113,735	100,413	102,959
学校給食費	教育委員会 事務局	97,291	89,684	81,254	59,820	69,316
高等学校等奨学金 高貸付金返還金		39,088	37,794	31,609	25,265	25,724

(3) 令和7年度未収金残高目標所属別一覧

(単位:千円)

所 属	令和5年度末 未収金残高	令和6年度末 未収金残高見込	令和7年度末 未収金残高目標	令和8年度末 未収金残高 (計画)	(参考)令和7年度末 未収金残高 (当初計画)
総 務 局	2,174	2,094	1,505	1,791	1,851
区 役 所	3,517	6,121	3,721	36	8,051
経 済 戦 略 局	103,383	98,488	89,932	92,903	95,504
中 央 卸 売 市 場	7,318	8,286	7,531	4,380	4,822
市 民 局	6,163	8,091	7,739	3,780	4,838
財 政 局	8,899,084	8,281,831	8,200,787	7,665,900	8,263,814
契 約 管 財 局	77,631	62,958	55,249	65,409	69,597
福 祉 局	22,505,231	23,803,173	22,662,949	19,370,168	19,933,173
健 康 局	1,014	5,657	1,549	922	927
こ ど も 青 少 年 局	1,209,209	1,163,770	1,099,326	1,016,209	1,071,653
環 境 局	16,606	16,941	15,117	14,817	15,276
都 市 整 備 局	1,372,720	1,398,793	1,362,909	1,339,299	1,350,450
建 設 局	281,242	254,015	179,185	177,222	184,434
大 阪 港 湾 局	254,247	252,737	236,577	217,241	231,374
消 防 局	492	589	272	212	272
水 道 局	243,370	156,367	134,374	115,424	118,481
教 育 委 員 会 事 務 局	200,470	191,270	171,944	136,116	150,425
合 計	35,183,871	35,711,181	34,230,666	30,221,829	31,504,942

議題 3 目標達成のための重点取組事項などについて

6 主な債権における未収金残高目標及び具体取組内容など

(3) その他主要債権の未収金目標及び具体取組内容

ア 福祉局

- ・後期高齢者医療保険料 P15
- ・生活保護法指定医療機関等返還金 P16
- ・国民健康保険料(不現住) P17
- ・国民健康保険給付費返還金 P18
- ・介護保険給付費不正・不当利得返還金及び加算金 P19
- ・大学奨学費貸付金返還金収入 P20
- ・居宅介護給付費返還金(居宅生活支援費返還金) P21

イ 契約管財局

- ・土地賃貸料 P22

ウ こども青少年局

- ・母子父子寡婦福祉貸付金 P23
- ・児童扶養手当返還金 P24
- ・児童福祉施設徴収金 P25

エ 環境局

- ・霊園手数料 P26

オ 都市整備局

- ・不正入居等損害金(市営住宅) P27

カ 建設局

- ・下水道使用料 P28

キ 大阪港湾局

- ・土地賃貸料(一般会計) P29
- ・土地賃貸料相当損害金等 P30

ク 水道局

- ・給水料 P31

ケ 教育委員会事務局

- ・学校給食費 P32
- ・高等学校等奨学金貸付金返還金 P33

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	福祉局	担当・事業所名	生活福祉部保険年金課(収納G)	債権整理番号(3ケタ)	036	債権区分	強制徴収公債権(強制公)	債権名	後期高齢者医療保険料
----	-----	---------	-----------------	-------------	-----	------	--------------	-----	------------

1. 令和6年度の修正目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	----	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	ウ'	エ'	オ'	カ'	キ'	ク'	ケ'	キ''	ク''	ケ''
		=前年度ケ''	=ア-ウ (▲=増加を表す)				=イ+エ+オ	=エ÷ウ	=カ÷ア	=ウ-(エ+オ)				=エ'+オ'	=エ'÷ウ'	=カ'÷ウ'	ケ'= エ'+オ')	= (エ+エ') ÷ (ウ+ウ')	= (カ+カ') ÷ (ア+ウ')	=ケ+ケ'
A	令和4年度 実績	405,375	570	404,805	136,742	100,621	237,933	33.8%	58.7%	167,442	27,747,401	27,458,276	0	27,458,276	99.0%	99.0%	289,125	98.0%	98.4%	456,567
B	令和5年度 実績	456,567	1,224	455,343	179,231	84,524	264,979	39.4%	58.0%	191,588	28,183,692	27,918,727	0	27,918,727	99.1%	99.1%	264,965	98.1%	98.4%	456,553
C	令和6年度 修正目標	456,553	1,761	454,792	179,188	98,337	279,286	39.4%	61.2%	177,267	31,736,210	31,482,320	0	31,482,320	99.2%	99.2%	253,890	98.4%	98.7%	431,157
D	令和6年度 実績	456,553	948	455,605	163,408	82,489	246,845	35.9%	54.1%	209,708	31,396,759	31,095,875	0	31,095,875	99.0%	99.0%	300,884	98.1%	98.4%	510,592
E	令和7年度 計画	408,661	0	408,661	146,301	97,944	244,245	35.8%	59.8%	164,416	29,709,819	29,472,140	0	29,472,140	99.2%	99.2%	237,679	98.3%	98.7%	402,095
F	令和7年度 目標	510,592	913	509,679	200,814	83,507	285,234	39.4%	55.9%	225,358	33,514,827	33,246,708	0	33,246,708	99.2%	99.2%	268,119	98.3%	98.5%	493,477

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	402,095	令和8年度末	400,911	令和9年度末	400,532
--------	---------	--------	---------	--------	---------

3. 令和6年度の取組実績・課題・改善策など

令和6年度の取組実績
・福祉局保険年金課分室においては、引き続き財産等調査を行うとともに、早期の預貯金差押を実施し、福祉局保険年金課においても年金の差押を積極的に 行うなど、未収金の解消策を講じた。 ・過年度においては、令和5年度実績より3.5ポイント減の徴収率35.9%、未収金残高は18百万円増となった。 ・現年度においては、令和5年度実績より0.1ポイント減の徴収率99.0%、未収金残高は36百万円増となった。 ・過年度・現年度合計については、令和5年度実績と徴収率は98.1%と変わらないものの、未収金残高は54百万円増と、未収金額が5億超となった。 ・担当職員全体の収納対策に関するスキルアップのため、福祉局主催の滞納処分研修を8・9・10月にかけて実施した。
課題と改善策
【課題】 ・市外転入者や年齢到達者など、加入当初から特別徴収や口座振替ができず納付書払いとなることでの納め忘れ(初期未納)の解消が必要である。 ・75歳年齢到達者の即時特別徴収の開始や、特別徴収捕捉順序等により特別徴収が実施できない被保険者が多いため、引き続き、大阪府後期高齢者医療 広域連合を通じて国への要望を行っていく必要がある。 ・目標徴収率の達成と未収金の減少に向けて、普通徴収対象者に対する口座振替利用促進、コールセンター及び各区のさらなる連携強化による納付勧奨や 財産差押等による保険料徴収の強化が必要である。 ・未収金が長期化、高額化する滞納者に対する取り組みについて、積極的に接触し、粘り強く納付交渉を続ける必要がある。 【改善策】 ・未収金の早期解消のため、積極的な財産調査及び預金・給与・年金・生命保険の差押を実施し、未収金回収に努める。 ・各区においては自区の未納状況を把握し、適時催告書の作成・発送を行う等、未収金に対する取り組みを積極的に行い、自主納付による未収金の解消を図 る。 ・普通徴収対象者に対し、コールセンター(民間委託業者)を積極的に活用し、口座振替の利用促進及び各区窓口に設置のペイジーシステムを利用し、納付相談 の機会を捉えて口座振替を勧奨するなどにより口座振替による納付を推進する。 ・Web口座受付サービスを令和7年11月より開始(予定)することで、口座振替の登録がしやすい環境を整備する。

4. 令和7年度の取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度 of 取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・未収金の早期解消のため、積極的に財産調査及び預金・給与・年金・生命保険の差押を強化し、未収金回収に努める。 ・各区においては、自区の未納状況を把握し、適時催告書の作成・発送を行う等、未収金に対する取り組みを積極的に行い、自主納付による未収金の解消を図る。 ・未収金が長期化、高額化する滞納者に対する取り組みについて、積極的に接触し、粘り強い納付交渉を続けていく。
未収金の発生抑制に向けた取組
・加入当初に特別徴収や口座振替ができず納付書払いとなることでの初期未納の発生抑制に向けコールセンター(民間委託業者)による電話納付勧奨を実施するとともに、口座 振替の利用促進を展開する。 ・各区においては、窓口設置のペイジーシステムを利用し、納付相談の機会を捉えて口座振替を勧奨し、口座振替による納付を推進する。 ・Web口座受付サービスを令和7年11月より開始(予定)し、口座振替の登録がしやすい環境を整備する。

未収金目標及び具体取組内容調査

所属	福祉局	担当・事業所名	生活福祉部保護課医療G	債権整理番号(3ケタ)	017	債権区分	非強制徴収公債権(非強公)	債権名	生活保護法指定医療機関等返還金
----	-----	---------	-------------	-------------	-----	------	---------------	-----	-----------------

1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	----	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「ー」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

過年度分										現年度分							合計		
前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
ア ＝前年度ケ''	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)		ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ'' ＝ケ'＋ケ'
A 令和4年度 実績	135,995	0	135,995	6,373	0	6,373	4.7%	4.7%	129,622	426,820	64,150	0	64,150	15.0%	15.0%	362,670	12.5%	12.5%	492,292
B 令和5年度 実績	492,292	0	492,292	8,038	26,000	34,038	1.6%	6.9%	458,254	13,944	7,655	6,289	13,944	54.9%	100.0%	0	3.1%	9.5%	458,254
C 令和6年度 修正目標	458,254	0	458,254	4,310	362,697	367,007	0.9%	80.1%	91,247	486	462	0	462	95.1%	95.1%	24	1.0%	80.1%	91,271
D 令和6年度 実績	458,254	0	458,254	2,047	26	2,073	0.4%	0.5%	456,181	25,450	24,001	0	24,001	94.3%	94.3%	1,449	5.4%	5.4%	457,630
E 令和7年度 計画	91,713	0	91,713	4,310	0	4,310	4.7%	4.7%	87,403	486	462	0	462	95.1%	95.1%	24	5.2%	5.2%	87,427
F 令和7年度 目標	457,630	0	457,630	4,510	362,670	367,180	1.0%	80.2%	90,450	486	462	0	462	95.1%	95.1%	24	1.1%	80.3%	90,474

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	87,427	令和8年度末	83,141	令和9年度末	79,574
--------	--------	--------	--------	--------	--------

3. 令和6年度を取組実績・課題・改善策など

令和6年度を取組実績
・【過年度分】 ・消滅時効が完成した案件について、不納欠損の手続きを行った。 ・債権が高額なことににより分割納付が長期化している債権については、年間返還額の見直し協議等を行うなど、長期化を極力防ぐことによる未収額の圧縮に努めた。 ・納付交渉中の債権について、現地調査を行い、納付交渉を行った。 ・【現年度分】 ・返還金発生事実確認後、対象医療機関等に対して速やかに返還請求を行うと同時に納付指導を実施した。 ・やむなく延滞が発生した場合は、30日以内に督促状を発するとともに、電話連絡等のうえ速やかに納付督促を行い、また所内への呼び出しや当該医療機関への訪問等による状況聴取や再協議等を積極的に行い、未収の長期化を未然に防いでいる。
課題と改善策
・【課題】 ・債権が高額なことににより分割納付が長期化している債権は、経営が上向きになり且つ、その状態が安定しない限り見直し協議を行ったとしてもその協議内容を実行させることが困難である。 ・返還対象額が高額である場合、破産等法的手続きに移行する可能性が高い。しかしながら、非強制徴収公債権のため、強制執行等は不可能である。 ・返還対象額が高額のため、履行延期の申請があっても提示される履行期間が10年以上を提示されることも多い。 ・ ・【改善策】 ・経営が上向きになり且つ、その状態が安定するような事業計画案を促し、年間返還額の見直し協議等で未収額の圧縮に努める。 ・随時、顧問弁護士への法律相談及び市債権回収対策室のアドバイザーへの相談等を活用し、また、本市他制度債権の債務者である場合は、他制度担当と連携のうえ、また場合によっては他自治体とも連携し、有効な請求方法などの検討を行う。

4. 令和7年度を取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・返還金発生事実確認後、対象医療機関等に対して速やかに返還請求を行うと同時に納付指導を実施する。 ・やむなく延滞が発生した場合は、30日以内に督促状を発するとともに、電話連絡等のうえ速やかに納付督促を行い、また所内への呼び出しや当該医療機関への訪問等による状況聴取や再協議等を積極的に行い、未収の長期化を未然に防ぐ。 ・随時、顧問弁護士への法律相談及び市債権回収対策室のアドバイザーへの相談等を活用し、また、本市他制度債権の債務者である場合は、他制度担当と連携のうえ、また場合によっては他自治体とも連携し、有効な請求方法などの検討を行う。
未収金の発生抑制に向けた取組
・返還請求が発生しないよう、一般指導として、適切な診療及び診療報酬請求が行われるよう、個別指導で確認された過誤請求等について周知を行う。 ・診療報酬請求に疑義がある医療機関については、個別指導を実施し、今後、返還請求が発生するような診療及び診療報酬請求を行うことが無いよう、指導を行う。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	福祉局	担当・事業所名	保険年金課(収納G)	債権整理番号(3ケタ)	027	債権区分	強制徴収公債権(強制公)	債権名	国民健康保険料(不現住)
----	-----	---------	------------	-------------	-----	------	--------------	-----	--------------

1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	A	現年度	A	合計(過年度＋現年度)	A	「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「ー」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定
-----	---	-----	---	-------------	---	---

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ''	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ'' ＝ケ＋ケ'
A	令和4年度 実績	176,712	14,189	162,523	0	57,818	72,007	0.0%	40.7%	104,705	74,681	0	0	0	0.0%	0.0%	74,681	0.0%	28.6%	179,386
B	令和5年度 実績	179,386	49,855	129,531	0	46,675	96,530	0.0%	53.8%	82,856	60,913	0	0	0	0.0%	0.0%	60,913	0.0%	40.2%	143,769
C	令和6年度 修正目標	143,769	2,228	141,541	0	43,030	45,258	0.0%	31.5%	98,511	77,644	0	0	0	0.0%	0.0%	77,644	0.0%	20.4%	176,155
D	令和6年度 実績	143,769	13,162	130,607	0	46,344	59,506	0.0%	41.4%	84,263	63,968	0	0	0	0.0%	0.0%	63,968	0.0%	28.6%	148,231
E	令和7年度 計画	182,421	32,669	149,752	0	60,108	92,777	0.0%	50.9%	89,644	92,993	0	0	0	0.0%	0.0%	92,993	0.0%	33.7%	182,637
F	令和7年度 目標	148,231	2,159	146,072	0	44,958	47,117	0.0%	31.8%	101,114	69,779	0	0	0	0.0%	0.0%	69,779	0.0%	21.6%	170,893

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	182.637	令和8年度末	176.878	令和9年度末	172.888
--------	---------	--------	---------	--------	---------

3. 令和6年度を取組実績・課題・改善策など

令和6年度を取組実績
・保険料決定通知書等発送文書の返戻管理を徹底することにより、不現住世帯の早期発見に努めるとともに、所在不明かつ連絡不能である被保険者については、住民基本台帳の担当と連携し、職権消除等を促した。 ・また、局からも所在不明等による資格疑義世帯に係る情報提供を行う等、区と局が連携して不現住世帯の解消に取組んだ。 ・文書返戻世帯等について、国保等システムから出力される配信帳票や局にて作成した資料等に基づく居住確認調査等を区にて実施するとともに、局においてもその進捗管理に努めてきたところである。
課題と改善策
【課題】 ・所在判明に至らず、結果未収となっている世帯がある。 【改善策】 ・引き続き、保険料決定通知書等発送文書の返戻管理を徹底することにより、不現住世帯の早期発見に努めるとともに、所在不明かつ連絡不納である被保険者については、住民基本台帳の担当と連携し、職権消除等を促す。 ・また、局からも所在不明等による資格疑義世帯に係る情報提供を行う等、区と局が連携して不現住世帯の解消に取組んでいく。

4. 令和7年度を取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・保険料決定通知書等発送文書の返戻管理を徹底することにより、不現住世帯の早期発見に努めるとともに、所在不明かつ連絡不能である被保険者については、住民基本台帳の担当と連携し、職権消除等を促す。 ・また、局からも所在不明等による資格疑義世帯に係る情報提供を行う等、区と局が連携して不現住世帯の解消に取組む。 ・文書返戻世帯等について、国保等システムから出力される配信帳票や局にて作成した資料等に基づく居住確認調査等を区にて実施するとともに、局においてもその進捗管理に努める。
未収金の発生抑制に向けた取組
・所在判明に至らず、結果未収となっている世帯がある。 ・引き続き、保険料決定通知書等発送文書の返戻管理を徹底することにより、不現住世帯の早期発見に努めるとともに、所在不明かつ連絡不納である被保険者については、住民基本台帳の担当と連携し、職権消除等を促す。 ・また、局からも所在不明等による資格疑義世帯に係る情報提供を行う等、区と局が連携して不現住世帯の解消に取組んでいく。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	福祉局	担当・事業所名	保険年金課	債権整理番号(3ケタ)	029・030	債権区分	私債権	債権名	国民健康保険給付費返還金
----	-----	---------	-------	-------------	---------	------	-----	-----	--------------

1. 令和6年度の修正目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	----	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

		過年度分								現年度分								合計		
		前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ”	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)	ウ’	エ’	オ’	カ’ ＝エ’＋オ’	キ’ ＝エ’÷ウ’	ク’ ＝カ’÷ウ’	ケ’ ＝ウ’－ (エ’＋オ’)	キ” ＝(エ＋エ’) ÷(ウ＋ウ’)	ク” ＝(カ＋カ’) ÷(ア＋ウ’)	ケ” ＝ケ＋ケ’
A	令和4年度 実績	286,910	5,751	281,159	74,072	22,596	102,419	26.3%	35.7%	184,491	611,621	407,137	0	407,137	66.6%	66.6%	204,484	53.9%	56.7%	388,975
B	令和5年度 実績	388,975	3,089	385,886	61,798	20,194	85,081	16.0%	21.9%	303,894	454,057	348,052	0	348,052	76.7%	76.7%	106,005	48.8%	51.4%	409,899
C	令和6年度 修正目標	409,899	0	409,899	74,395	139,683	214,078	18.1%	52.2%	195,821	450,000	378,189	0	378,189	84.0%	84.0%	71,811	52.6%	68.9%	267,632
D	令和6年度 実績	409,899	4,904	404,995	67,231	57,080	129,215	16.6%	31.5%	280,684	507,487	392,280	0	392,280	77.3%	77.3%	115,207	50.4%	56.8%	395,891
E	令和7年度 計画	251,307	0	251,307	67,203	23,571	90,774	26.7%	36.1%	160,533	427,500	347,558	0	347,558	81.3%	81.3%	79,942	61.2%	64.6%	240,475
F	令和7年度 目標	395,891	0	395,891	67,842	136,672	204,514	17.1%	51.7%	191,377	427,500	375,660	0	375,660	87.9%	87.9%	51,840	53.9%	70.5%	243,217

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	240,475	令和8年度末	228,753	令和9年度末	216,366
--------	---------	--------	---------	--------	---------

3. 令和6年度の取組実績・課題・改善策など

令和6年度の取組実績
【029国民健康保険給付費返還金】 ・配当通知により、手続きを行い充当した。 ・区間異動に伴う資格喪失で発生した返還金のうち、転出先の区で大阪市国保に再加入している世帯に係るものについては、保険給付対象となる処理を行った。 ・滞納世帯との接触強化を図り、分割納付も含めて未収金の解消を図った。 ・生活困窮状態で徴収見込のないものや、死亡、行方不明等で徴収見込のないもの等について、再度整理を行っており、法令等に従い履行延期特約や徴収停止等の措置ができるか検討を行った。 ・各区担当者への研修会を5月と11月に開催し、滞納者への早期接触、分納世帯との定期的接触や保険者間調整による確実な回収の案内等、未収金解消に向けた職員の意識向上を図った。研修内容を精査しつつ同様の取り組みを継続する。 ・保険者間調整が可能なものについては順次処理を行った。 【030国民健康保険給付費返還金(医療機関等不正分)】 ・所在調査を実施。 ・令和6年度は再生計画に基づく弁済の機会がなかった。 ・供託金の配当を受けた。 ・アドバイザー弁護士等へ相談を行った。 ・納入通知書を送付した。
課題と改善策
【029国民健康保険給付費返還金】 【課題】 ・発生原因に、被保険者の資格喪失後受診に対する理解度が関係している。 ・区の担当者については、債権管理をメインとする業務ではなく、時間や人員を債権管理に充てる余裕がない。 ・医療機関等に対する返還金については、国及び府の指導及び監査の状況(本市は把握不可能)によって、毎年度返還金額が変わり、他の市町村にも債権がある場合は、通常複数年にわたる分納となる。 【改善策】 ・債務者に対し、債権発生の原因等を説明し、早期の納付に向け交渉を行い、滞納とならないようにする。 ・研修会等を通じ、他区の取り組み状況を周知し、必要に応じ個別の相談、支援を行う。 ・医療機関等に対する返還金については、分割納付となった場合でも、確実な納付を維持できるよう、また早期完納となるよう交渉していく。 【030国民健康保険給付費返還金(医療機関等不正分)】 【課題】 ・債務者の所在不明状態が継続しているため、引き続き所在調査を実施し、納付交渉へと繋がるよう検討が必要 ・収監中の債務者への対応 【改善策】 ・引き続きアドバイザー弁護士等への相談を行いながら対応を検討する。

4. 令和7年度の取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標（＝未収金残高目標）の達成状況」及び「3. 令和6年度 of 取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
【029国民健康保険給付費返還金】 ・配当通知があれば、債権に充当する。 ・区間異動に伴う資格喪失で発生した返還金のうち、転出先の区で大阪市国保に再加入している世帯に係るものについては、保険給付対象となる処理を行う。 ・滞納世帯との接触強化を図り、分割納付も含めて未収金の解消を図っていく。 ・死亡、行方不明等の滞納者については、所在調査や相続人調査を進め、徴収見込のないもの等については、法令等に従いや徴収停止等の措置や債権放棄ができるか検討を行う。 ・各区担当者への研修会を実施し、債権管理についての理解を深めていただくとともに、早期接触により滞納者が生じないよう伝えていく。 ・保険者間調整が可能なものについては、確実な回収が見込めるため、積極的に実施して行くよう促す。 ・破産免責債権については、債権放棄を行う。 【030国民健康保険給付費返還金(医療機関等不正分)】 ・再生計画に基づく配当があれば、債権に充当する。 ・法人解散が確認できれば、債権が消滅となり、不納欠損処理を行う。
未収金の発生抑制に向けた取組
【029国民健康保険給付費返還金】 ・債務者に対し、債権発生の原因等を説明し、早期の納付に向け交渉を行い、滞納とならないようにする。 ・研修会等を通じ、他区の取り組み状況を周知し、必要に応じ個別の相談、支援を行う。 ・医療機関等に対する返還金については、分割納付となった場合でも、確実な納付を維持できるよう、また早期完納となるよう交渉していく。 ・保険者間調整について、区 of 状況についてとりまとめを行い、進捗確認及び必要に応じ動員を行う。 【030国民健康保険給付費返還金(医療機関等不正分)】 ・大阪府より返還金の通知が到達したら、相手方へまずは連絡を取り、納付依頼を行ってから、納入通知を行うようにする。 ・納期限の確認を行い、納付の進捗管理をする。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	福祉局	担当・事業所名	介護保険課	債権整理番号(3ケタ)	066・076	債権区分	強制徴収公債権(強制公) 非強制徴収公債権(非強公)	債権名	介護保険給付費不正・不当利得返還金及び加算金
----	-----	---------	-------	-------------	---------	------	-------------------------------	-----	------------------------

1. 令和6年度の修正目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	----	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

過年度分										現年度分							合計		
前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
ア ＝前年度ケ"	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ(エ＋オ)		ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')'	キ" ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク" ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ" ＝ケ＋ケ'
A 令和4年度 実績	138,275	0	138,275	14,350	3,292	17,642	10.4%	12.8%	120,633	19,598	11,711	0	11,711	59.8%	59.8%	7,887	16.5%	18.6%	128,520
B 令和5年度 実績	128,520	0	128,520	8,298	0	8,298	6.5%	6.5%	120,222	39,943	39,338	0	39,338	98.5%	98.5%	605	28.3%	28.3%	120,827
C 令和6年度 修正目標	120,827	1	120,826	5,720	2,532	8,253	4.7%	6.8%	112,574	39,943	39,943	0	39,943	100.0%	100.0%	0	28.4%	30.0%	112,574
D 令和6年度 実績	120,827	▲ 1	120,828	4,864	2,533	7,396	4.0%	6.1%	113,431	170,857	82,634	0	82,634	48.4%	48.4%	88,223	30.0%	30.9%	201,654
E 令和7年度 計画	82,019	0	82,019	11,051	0	11,051	13.5%	13.5%	70,968	20,582	20,582	0	20,582	100.0%	100.0%	0	30.8%	30.8%	70,968
F 令和7年度 目標	201,654	1	201,653	73,646	0	73,647	36.5%	36.5%	128,007	170,857	170,857	0	170,857	100.0%	100.0%	0	65.6%	65.6%	128,007

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	70,968	令和8年度末	59,917	令和9年度末	48,866
--------	--------	--------	--------	--------	--------

3. 令和6年度を取組実績・課題・改善策など

令和6年度を取組実績
【066介護保険給付費不正利得返還金及び加算金】 ・分割納付により返還中の事業所についても増額交渉を行って早期の完済となるよう努めた。 ・令和6年度新たに発生した返還金は、早期に当該事業所と接触を図り一括納付をさせるよう納付交渉を行った。 ・分割納付が滞っていた一部債務者に対し、居所調査・財産調査及び現地訪問などの納付交渉を粘り強く行った結果、改めて分割納付させることができた。 【076介護保険給付費不当利得返還金】 ・分割納付により返還中の事業所についても増額交渉を行って早期の完済となるよう努めた。 ・分割納付が滞っていた一部債務者に対し、居所調査・財産調査及び現地訪問などの納付交渉を粘り強く行った結果、改めて分割納付させることができた。
課題と改善策
【066介護保険給付費不正利得返還金及び加算金】 【課題】 ・本件債務者については、事業者指定取り消しにより債務返済にあてる収入を得る手段がなくなっており、多額の不正が発生した段階で法人破産により債権回収が困難となってしまう場合が多い。 ・他市町村で行政処分を行った事業者に対する返還金等については、返還金等の発生に係る情報を早期に把握することが困難で、介護給付費の審査支払留保対応や納付交渉時期が遅れてしまう。 【改善策】 ・法人破産せずに着実に債権回収できるよう返済能力に応じた金額による分納交渉を行うとともに、毎年定期的に返済能力を確認し、適切な分納返済額の設定を行う。 ・状況によっては弁護士等の助言を仰ぎ、滞納処分等の対応を進める。 ・少なくとも府内の市町村とは適宜連携し、早期に行政処分に伴う返還金の発生状況を把握し、介護給付費の審査支払留保等の確実な債権回収につなげる。 【076介護保険給付費不当利得返還金】 【課題】 ・多額の返還金発生に伴い事業所を廃止することがあり、その場合債務返済にあてる収入を得る手段がなくなる。また、場合によっては法人破産により債権回収が困難となってしまう場合がある。 【改善策】 ・法人破産せずに着実に債権回収できるよう返済能力に応じた金額による分納交渉を行うとともに、毎年定期的に返済能力を確認し、適切な分納返済額の設定を行う。

4. 令和7年度を取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
【066介護保険給付費不正利得返還金及び加算金】 ・弁護士等の助言を仰ぎつつ、引き続き納付交渉等を適切に行い、未収残高の縮減につなげる。 ・分割納付により返還中の事業所についても増額交渉を行って早期の完済となるよう努める。 ・財産調査、滞納処分を行うも時効が到来した債権については、適切に不納欠損処理をすすめる。 ・返還金が発生した場合は、早期に当該事業所と接触を図り一括納付をさせるよう納付交渉を行う。 【076介護保険給付費不当利得返還金】 ・弁護士等の助言を仰ぎつつ、引き続き納付交渉等を適切に行い、未収残高の縮減につなげる。 ・分割納付により返還中の事業所についても増額交渉を行って早期の完済となるよう努める。 ・時効が到来した債権については、適切に不納欠損処理をすすめる。
未収金の発生抑制に向けた取組
【066介護保険給付費不正利得返還金及び加算金】 ・一括納付が困難な事業所においては、必要に応じて分割納付を行うなどの納付交渉を行う。 ・一括納付等にも応じない事業所の場合は、財産調査を行いながら、差押等の強制徴収を行う。 ・特に悪質な事業所については、指定・指導グループとも連携し法的な手段も視野にいれて対応していく。 ・不正請求発覚から処分決定までの間、当該事業所の介護給付費の審査支払については、一旦保留する。 【076介護保険給付費不当利得返還金】 ・返還金が発生した場合は、早期に当該事業所と接触を図り一括納付をさせるよう納付交渉を行う。 ・一括納付が困難な事業所においては、必要に応じて分割納付を行うなどの納付交渉を行う。 ・納付交渉等にも応じない事業所の場合は、財産調査を行いながら、差押等の強制徴収を行う。 ・特に悪質な事業所については、指定・指導グループとも連携し法的な手段も視野にいれて対応していく。 ・不当請求発覚から処分決定までの間、当該事業所の介護給付費の審査支払については、一旦保留する。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	福祉局	担当・事業所名	生活福祉部地域福祉課	債権整理番号(3ケタ)	004	債権区分	私債権	債権名	大学奨学金貸付金返還金収入
----	-----	---------	------------	-------------	-----	------	-----	-----	---------------

1. 令和6年度の修正目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

（例）令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	----	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

（単位：千円）

過年度分										現年度分							合計		
前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
ア ＝前年度ケ''	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)		ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ウ＋ウ')	ケ'' ＝ケ'＋ケ'
A 令和4年度 実績	29,531	0	29,531	479	0	479	1.6%	1.6%	29,052	13,911	10,572	1,737	12,309	76.0%	88.5%	1,602	25.4%	29.4%	30,654
B 令和5年度 実績	30,654	0	30,654	861	0	861	2.8%	2.8%	29,793	11,978	10,186	0	10,186	85.0%	85.0%	1,792	25.9%	25.9%	31,585
C 令和6年度 修正目標	31,585	2,829	28,756	709	2,729	6,267	2.5%	19.8%	25,318	13,052	11,146	0	11,146	85.4%	85.4%	1,906	28.4%	39.0%	27,224
D 令和6年度 実績	31,585	151	31,434	1,269	2,729	4,149	4.0%	13.1%	27,436	12,726	10,224	590	10,814	80.3%	85.0%	1,912	26.0%	33.8%	29,348
E 令和7年度 計画	27,714	0	27,714	1,585	891	2,476	5.7%	8.9%	25,238	12,016	10,478	0	10,478	87.2%	87.2%	1,538	30.4%	32.6%	26,776
F 令和7年度 目標	29,348	0	29,348	3,332	471	3,803	11.4%	13.0%	25,545	12,767	10,903	0	10,903	85.4%	85.4%	1,864	33.8%	34.9%	27,409

（参考）未収金残高の中期目標

令和7年度末	26,776	令和8年度末	26,729	令和9年度末	26,682
--------	--------	--------	--------	--------	--------

3. 令和6年度の取組実績・課題・改善策など

令和6年度の取組実績
（過年度） ・令和6年度決算時点で、申請により債務の期限が変更可能である対象者はいない。 ・過年度から継続して滞納がある者については、これまで一律の書式等により対応を行ってきたが、色付け封筒、封筒への注意書きの記載、個別に督促状の表現などを工夫し、より直感的に市の意図が伝わりやすくなるといったナッジ理論も取り入れた取り組みを行った結果、長期間反応が無かった滞納者から納付があり、収納率が向上した。 ・履行延期が10年継続している者の地方自治法施行令第171条の7第1項に基づく債務免除について、行政手続条例第5条第1項の規定に基づき審査基準を定立した。 （現年度） ・返還免除申請が所得基準を満たさなかったため、返還対象となる者については、新たな未収金を極力発生させない取組として、ナッジ理論の活用もしながら、返還の開始時期や返還方法について丁寧な説明に努めることで、返還への理解を得ることができている。 ・新たな滞納の発生については、早期の督促状の送付と督促の継続に重点をおいて滞納を悪化させないよう対応を進めた。 ・現年度、過年度ともに制度の背景については、十分理解したうえで、人権上の配慮をしながら、未納発生の防止に努めている。 ・令和6年度決算時で、新条例施行時に1,743,337千円あった債権(20年で処理予定)のうち、86.32%にあたる1,504,766千円の債権処理を完了した。
課題と改善策
【課題】 （過年度） ・人との接触を避け頑なに返還に応じない者、そもそも送付物を見ない者、居所が別宅にある者など、連絡がとれない長期滞納者に苦慮しており、預金調査を行っても、財産の発見には至らないため、対応に苦慮している。 （現年度） ・遠隔地居住者で、電話番号不明の借受者に対しては、文書督促が中心になるが、反応がないことから苦慮している。 ・頻回に転居を繰り返す者については、訪問によっても居住確認自体が困難であり、納付交渉がより難しくなっている。 【改善策】 （過年度） ・これまで郵送、訪問及び架電を試みているが反応がない者について、夜間・遠隔地への訪問や電話での接触を試みるも進展が極めて低い状況から、書類送付、ドアポストへのポスティングの強化を図っていく。 ・訪問については、郵送物が届かない者、居所が別宅である情報がある者などについては居住調査も積極的にやっていく。 ・債務名義を取得している者に対しては、預金照会や預貯金債権等の情報取得手続きを実施し、強制執行を検討していく。 （現年度） ・過年度とも併せて取組を行っていく。

4. 令和7年度の取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度の取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
（過年度） ・納付の傾向を個別に調査し、例えば過年度のみに未納が見られる者については、失念の可能性あることから、納付書の送付や積極的に納付案内を行うといった取り組みを行う。 ・過年度滞納者には、接触が困難な者が多いため、滞納額の全体がわかるように工夫し、自身が返還計画を立てやすくなるような案内文書の送付を行う。また、アプローチする期間を空け過ぎると、納付意欲が低下してしまうので1か月を目途に何らかのアプローチを継続する取り組みを行っていく。 ・履行延期が10年継続している者について、地方自治法施行令第171条の7第1項に基づく債務免除を検討する。 （現年度） ・免除申請が遅れている者については、積極的に申請勧奨を進めていく。その際、申請書記入に負担感があることを踏まえ、あらかじめ住所等がわかっている場合は市で記入するなど、借受者の負担軽減もしながら丁寧に勧奨を進める。 ・一方で、滞納を抱えている者も少なくなく、そのような場合には積極的に履行延期の特約による分割の案内など、借受者の負担軽減を進めていく。
未収金の発生抑制に向けた取組
（過年度） ・過年度の滞納督促については、自身の滞納状況を把握してもらうため、全体の納付状況を明確に伝えるような体裁にする。 ・なお、これまで接触ができていない者については、傾向として訪問及び電話など、人との接触に抵抗があるものも少なからず居ると推測できるため、簡潔明瞭な案内文書の送付を中心に、書留郵便なども活用し、別の角度から対応を進めている。 （現年度） ・免除申請が遅れている者については、積極的に申請勧奨を進めている。その際、申請書記入に負担感があることを踏まえ、あらかじめ住所等がわかっている場合は市で記入し作成するなど、借受者の負担軽減もしながら丁寧に勧奨を進めている。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	福祉局	担当・事業所名	障がい支援課	債権整理番号(3ケタ)	045	債権区分	強制徴収公債権(強制公)	債権名	居宅介護給付費返還金(居宅生活支援費返還金)
----	-----	---------	--------	-------------	-----	------	--------------	-----	------------------------

1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	A	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	---	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	ウ'	エ'	オ'	カ'	キ'	ク'	ケ'	キ''	ク''	ケ''
		＝前年度ケ''	＝ア－ウ (▲＝増加を表す)				＝イ＋エ＋オ	＝エ÷ウ	＝カ÷ア	＝ウ－(エ＋オ)				＝エ'＋オ'	＝エ'÷ウ'	＝カ'÷ウ'	＝ウ'－ (エ'＋オ')	＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	＝ケ'＋ケ'
A	令和4年度 実績	63,709	0	63,709	470	0	470	0.7%	0.7%	63,239	0	0	0	0	－	－	0	0.7%	0.7%	63,239
B	令和5年度 実績	63,239	0	63,239	720	0	720	1.1%	1.1%	62,519	15,084	15,084	0	15,084	100.0%	100.0%	0	20.2%	20.2%	62,519
C	令和6年度 修正目標	62,519	0	62,519	720	26,326	27,046	1.2%	43.3%	35,473	0	0	0	0	－	－	0	1.2%	43.3%	35,473
D	令和6年度 実績	62,519	0	62,519	710	50,929	51,639	1.1%	82.6%	10,880	114,398	62,234	0	62,234	54.4%	54.4%	52,164	35.6%	64.4%	63,044
E	令和7年度 計画	35,473	0	35,473	720	0	720	2.0%	2.0%	34,753	0	0	0	0	－	－	0	2.0%	2.0%	34,753
F	令和7年度 目標	63,044	0	63,044	720	0	720	1.1%	1.1%	62,324	0	0	0	0	－	－	0	1.1%	1.1%	62,324

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	34,753	令和8年度末	34,033	令和9年度末	33,313
--------	--------	--------	--------	--------	--------

3. 令和6年度を取組実績・課題・改善策など

令和6年度を取組実績
【過年度分】 ・分納誓約を行っている債権については、月々の納付が滞らないように納付確認を継続的に行った。 ・消滅時効期間を経過している債権について、不納欠損により整理を行った。 ・返還に至っていない債務者に対して、継続した納付交渉はできなかった。 【現年度】 ・返還決定後、すぐに債務者と面会等による納付交渉を行い、全額納付または一部納付を得た。
課題と改善策
【課題】 ・納付が滞っている過年度分の債権について、債務者の居所等を確認し納付交渉を行う必要がある。 【改善策】 ・債務者の居所調査や財産調査等を行ったうえで、催告書の送付など納付交渉を実施する。 ・催告書を送付しても滞納が続く債権については、滞納処分の実施を進める。

4. 令和7年度を取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・一部納付のあった債権については、継続的な納付の実現に向けて、定期的に債務者との面会機会を設けるなど、適宜納付交渉を進める。 ・滞納が続いている債権については、債務者の居所調査や財産調査等を行ったうえで、納付交渉や滞納処分を実施する。
未収金の発生抑制に向けた取組
・返還決定後、すぐに債務者との面会の機会を設け、納期限までの支払いを依頼するとともに、滞納発生時の延滞金等の説明を行う。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	契約管財局	担当・事業所名	管財部管財課賃貸グループ	債権整理番号(3ケタ)	003	債権区分	私債権	債権名	土地賃貸料
----	-------	---------	--------------	-------------	-----	------	-----	-----	-------

1. 令和6年度の修正目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	A	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	A
-----	---	-----	----	-------------	---

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

過年度分										現年度分							合計		
前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
ア ＝前年度ケ ^㉒	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ(エ＋オ)		ウ ^㉑	エ ^㉑	オ ^㉑	カ ^㉑ ＝エ ^㉑ ＋オ ^㉑	キ ^㉑ ＝エ ^㉑ ÷ウ ^㉑	ク ^㉑ ＝カ ^㉑ ÷ウ ^㉑	ケ ^㉑ ＝ウ ^㉑ － (エ ^㉑ ＋オ ^㉑)	キ ^㉒ ＝(エ＋エ ^㉑) ÷(ウ＋ウ ^㉑)	ク ^㉒ ＝(カ＋カ ^㉑) ÷(ア＋ウ ^㉑)	ケ ^㉒ ＝ケ ^㉑ ＋ケ ^㉑
A 令和4年度 実績	78,122	0	78,122	16,304	0	16,304	20.9%	20.9%	61,818	427,402	413,479	0	413,479	96.7%	96.7%	13,923	85.0%	85.0%	75,741
B 令和5年度 実績	75,741	0	75,741	17,192	0	17,192	22.7%	22.7%	58,549	415,998	403,415	0	403,415	97.0%	97.0%	12,583	85.5%	85.5%	71,132
C 令和6年度 修正目標	71,132	0	71,132	9,000	0	9,000	12.7%	12.7%	62,132	402,955	394,895	0	394,895	98.0%	98.0%	8,060	85.2%	85.2%	70,192
D 令和6年度 実績	71,132	0	71,132	19,021	5,885	24,906	26.7%	35.0%	46,226	397,868	387,713	0	387,713	97.4%	97.4%	10,155	86.7%	88.0%	56,381
E 令和7年度 計画	74,329	0	74,329	12,636	0	12,636	17.0%	17.0%	61,693	395,223	387,319	0	387,319	98.0%	98.0%	7,904	85.2%	85.2%	69,597
F 令和7年度 目標	56,381	▲1	56,382	9,000	0	8,999	16.0%	16.0%	47,382	389,431	381,642	0	381,642	98.0%	98.0%	7,789	87.6%	87.6%	55,171

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	69,597	令和8年度末	65,409	令和9年度末	61,673
--------	--------	--------	--------	--------	--------

3. 令和6年度の取組実績・課題・改善策など

令和6年度の取組実績
○過年度 ・滞納額を一括で支払えない滞納者については、支払誓約書を徴収したうえで毎月分割で納付させた。 ・毎月収納管理を行い、納付が遅れている案件については、電話及び現地訪問等の督促行為を積極的に行い、賃貸料の納付が滞らないように努めた。 ・特に高額かつ未収金回収までの整理が複雑な案件については、未収金回収業務について委任契約を締結している弁護士へ法律相談及び法的措置を含めた対応を依頼した。 ・賃借人の死亡が確認された案件については、迅速に相続調査を実施し相続人と納付交渉等を進めた。 ・契約解除を行った案件については、建物収去強制執行及び賃貸地売却を実施し、債権放棄及び不能欠損処分を行った。 ・相続人の不存在が明らかとなった案件については、相続財産清算人選任の申立てを行い滞納回収に向けた交渉を進めた。
○現年度 ・納入期限より30日以内に督促状を送付した。 ・督促状の納入期限を過ぎても納付がなされない案件については、電話及び現地訪問等の督促行為を積極的に行い、早期滞納解消に努めた。 ・賃借人が死亡している案件については、将来の複雑な高額滞納案件とならないように相続手続き及び請求行為又は相続放棄の確認を進めた。
課題と改善策
【課題】 ・事業開始から概ね70年を経過し、当該建物の老朽化や賃借人の高齢化が進む中、生活状況の変化により本件地に居住していないケースや、相続名義変更手続きがされていないケースも増加してきている。また、相続人不在、相続人の確定が困難、相続放棄など、権利関係が複雑化しておりその対応策について法律の専門的な知識が必要となってきている。
【改善策】 ○過年度 ・滞納交渉が進まない案件については、委任弁護士からの督促を実施し法的対応についても検討を行う。 ・訴訟や相続財産清算人選任など法的対応が必要な案件について、委任弁護士からの助言を受けながら法的アプローチを図る。
○現年度 ・納付書が届かない案件については、相続が発生している可能性を考慮し、迅速に相続調査を行う。

4. 令和7年度の取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度の取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
○過年度 ・未収金回収業務について弁護士と委任契約を締結し、滞納案件ごとの法律相談及び法的措置を含めた対応を実施する。 ・賃借人の死亡が確認された案件については、迅速に相続調査を実施し相続人へ納付交渉等を行う。 ・相続放棄がされている等相続人が不存在となった案件については、費用対効果を検討したうえで相続財産清算人の申立てを行い、未収金の回収を図る。
○現年度 ・納入期限より30日以内に督促状を送付する。督促状の納入期限後も弁済がなされない案件については、すみやかに電話連絡を実施し、必要に応じて催告書送付及び現地訪問による納付交渉等を実施する。 ・納付書が返戻される場合や登録電話番号が不通である場合は、現地訪問及び住民票請求等により賃借人の存否を確認する。 ・賃借人の死亡が確認された案件については、迅速に相続調査を実施し相続人へ納付交渉等を行う。
未収金の発生抑制に向けた取組
・口座振替登録を勧奨するために納入通知書送付時に口座振替の案内文書を同封する。 ・電話連絡や催告書送付、現地訪問といった納付交渉の早期実施を徹底する。

未収金目標及び具体取組内容調査

所属	こども青少年局	担当・事業所名	こども家庭課	債権整理番号(3ケタ)	180	債権区分	私債権	債権名	母子父子寡婦福祉貸付金
----	---------	---------	--------	-------------	-----	------	-----	-----	-------------

1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	A	現年度	A	合計(過年度＋現年度)	A
-----	---	-----	---	-------------	---

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

	過年度分									現年度分							合計		
	前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
	ア ＝前年度ケ	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)	ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ'' ＝ケ＋ケ'
A 令和4年度 実績	632,878	0	632,878	41,985	10,862	52,847	6.6%	8.4%	580,031	232,880	206,773	0	206,773	88.8%	88.8%	26,107	28.7%	30.0%	606,138
B 令和5年度 実績	606,138	0	606,138	34,423	625	35,048	5.7%	5.8%	571,090	226,591	202,035	0	202,035	89.2%	89.2%	24,556	28.4%	28.5%	595,646
C 令和6年度 修正目標	595,646	0	595,646	37,929	0	37,929	6.4%	6.4%	557,717	234,986	210,193	0	210,193	89.4%	89.4%	24,793	29.9%	29.9%	582,510
D 令和6年度 実績	595,646	0	595,646	38,051	8,008	46,059	6.4%	7.7%	549,587	198,562	174,758	0	174,758	88.0%	88.0%	23,804	26.8%	27.8%	573,391
E 令和7年度 計画	572,511	0	572,511	42,366	0	42,366	7.4%	7.4%	530,145	236,770	209,778	0	209,778	88.6%	88.6%	26,992	31.2%	31.2%	557,137
F 令和7年度 目標	573,391	0	573,391	35,241	0	35,241	6.1%	6.1%	538,150	219,345	195,778	0	195,778	89.3%	89.3%	23,567	29.1%	29.1%	561,717

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	557,137	令和8年度末	543,049	令和9年度末	529,987
--------	---------	--------	---------	--------	---------

3. 令和6年度の実績・課題・改善策など

令和6年度の実績
・4月当初に当事業の概要について区担当者あてに周知、6月14日、9月28日に区担当者説明会を実施し、区担当者のスキルアップを行った。 ・10月から翌年1月にかけて、償還促進月間を設定し、その期間中に重点的に電話及び訪問による催告を実施した。 ・各区の独自の未収金対策を集約し、全区へ情報提供を行った。 ・新たな滞納者が発生させないよう、貸付時及び償還開始前に償還の意識づけを行うとともに、初回時未納者については文書による督促だけではなく、電話により納付指導を行い、債務者の償還意識の向上を図るとともに、早期に本来の償還計画に戻すようにした。 ・令和5年10月より各区へ事務指導を実施、区の債権管理状況を確認するとともに、個別ケースへの対応について指導することで、困難ケースへの対応方法を整理した。 ・サービス(債権回収業者)による債権回収を行い、訪問による直接交渉に重点を置き、早期納付を求めた。 ・局において、債権管理の非常勤嘱託職員により、分納誓約などの履行状況等収納管理を行うと共に、滞納者に早期に督促し、滞納の解消、安定した徴収に取り組んだ。 ・所在調査及び財産調査により、所在及び財産が不明である債権の整理をはかった。
課題と改善策
【課題】 ・滞納者のうち、滞納が長期化又は難件化している事案の割合が増加してきている。 ・区担当者は当事業以外の業務を複数兼務している職員ばかりであるため、貸付事務や債権管理のノウハウの共有を図ることが難しい。 ・制度の性質上、低所得、生活困窮の債務者が多く、償還が滞りやすい。 【改善策】 ・区担当者と連携を密にし、個別事案への対応方法を具体化する。それでも滞納が続く場合には、財産調査やサービスへの委託等を実施する等の対応を行う。 ・担当者説明会や事務連絡、事務指導等により、区担当者のスキルアップをはかる。

4. 令和7年度の実績・課題・改善策など

未収金の解消に向けた取組
・区担当者に対する説明会や事務指導等を実施することで、区担当者のスキルアップをはかり、また各区の独自の対策を集約し全区で共有することで、債務者との納付交渉等に活かしていく。 ・償還促進月間を設定し、重点的に徴収を行う。 ・初回時未納者については文書による督促だけではなく、電話により納付指導を行い、債務者の償還意識の向上を図るとともに、早期に本来の償還計画に戻す。 ・引き続き、サービス(債権回収業者)による債権回収を行い、早期納付を求めていく。 ・局において、非常勤嘱託職員を引き続き雇用し収納管理を行い、滞納者に早期に連絡し、徴収を強化していく。 ・財産調査等を実施し、滞納が長引いている債務者への対応を強化する。 ・債務者らが、破産免責を受けている債権をはじめ、回収の見込みのない債権については、債権放棄の手続きを進め、適正な債権管理に取り組む。
未収金の発生抑制に向けた取組
・新たな滞納者が発生させないために、貸付の際に他制度の案内等を行い、また償還見込みがあるかどうかを判断してから貸付を行う。 ・償還開始前に、借受人等に対し区役所への来庁を依頼し、担当者面談のうえ、償還の意識づけを行うとともに、口座振替の登録の確認を行う。 ・初回時未納者について、特に重点的に納付指導を行い、早期に滞納の解消を図り、本来の償還計画に戻していく。

未収金目標及び具体取組内容調査

所属	こども青少年局	担当・事業所名	こども家庭課	債権整理番号(3ケタ)	050・051	債権区分	強制徴収公債権(強制公)	債権名	児童扶養手当返還金
----	---------	---------	--------	-------------	---------	------	--------------	-----	-----------

1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	----	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

		過年度分										現年度分								合計		
		前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ''	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ(エ＋オ)		ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')		キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ'' ＝ケ＋ケ'
A	令和4年度 実績	191,020	▲ 851	191,871	19,347	6,241	24,737	10.1%	12.9%	166,283		67,412	42,985	0	42,985	63.8%	63.8%	24,427		24.0%	26.2%	190,710
B	令和5年度 実績	190,710	0	190,710	20,583	5,560	26,143	10.8%	13.7%	164,567		49,323	23,706	0	23,706	48.1%	48.1%	25,617		18.5%	20.8%	190,184
C	令和6年度 修正目標	190,184	0	190,184	19,269	6,714	25,983	10.1%	13.7%	164,201		49,323	31,937	0	31,937	64.8%	64.8%	17,386		21.4%	24.2%	181,587
D	令和6年度 実績	190,184	▲ 1,314	191,498	17,965	4,199	20,850	9.4%	11.0%	169,334		60,276	35,042	0	35,042	58.1%	58.1%	25,234		21.1%	22.3%	194,568
E	令和7年度 計画	186,374	0	186,374	18,774	6,610	25,384	10.1%	13.6%	160,990		66,121	42,394	0	42,394	64.1%	64.1%	23,727		24.2%	26.8%	184,717
F	令和7年度 目標	194,568	2,805	191,763	18,763	6,675	28,243	9.8%	14.5%	166,325		60,276	36,116	0	36,116	59.9%	59.9%	24,160		21.8%	25.3%	190,485

(単位:千円)

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	184,717	令和8年度末	183,286	令和9年度末	182,050
--------	---------	--------	---------	--------	---------

3. 令和6年度を取組実績・課題・改善策など

令和6年度を取組実績
【050児童扶養手当返還金(不正・不当利得)】 ・返還金の事務処理要領を周知徹底し、債権回収や消滅時効経過予定債権への対応を進めた。 ・分納誓約の履行が滞っている債務者に催告状発送等の納付勧奨を行った。 ・債務者に対し口座振替を積極的に勧めた。 ・全滞納者に対して、滞納処分を行うにあたり、納付注意書及び最終催告書の送付を行った。 ・事務指導を行った際に返還金処理についての指導を行った。また、事務指導を行っていない区に対して、電話で返還金処理の指導を行った。
【051児童扶養手当返還金(過誤分)】 ・返還金の事務処理要領を周知徹底し、債権回収や消滅時効経過予定債権への対応を進めた。 ・分納誓約の履行が滞っている債務者に催告状発送等の納付勧奨を行った。 ・債務者に対し口座振替を積極的に勧めた。 ・事務指導を行った際に返還金処理についての指導を行った。また、事務指導を行っていない区に対して、電話で返還金処理の指導を行った。
課題と改善策
【050児童扶養手当返還金(不正・不当利得)】 【課題】 ・制度の性質上、低所得、生活困窮者の債務者が多く返還が滞りやすい。 【改善策】 ・少しからでも返還できるよう分納相談を行い、分納誓約書の提出を求める。また、口座振替についても、積極的に進める。 ・財産調査を行った結果、資産等の確認が出来なければ、滞納処分の停止について、検討を行う。
【051児童扶養手当返還金(過誤分)】 【課題】 ・制度の性質上、低所得、生活困窮者の債務者が多く返還が滞りやすい。 【改善策】 ・少しからでも返還できるよう分納相談を行い、分納誓約書の提出を求める。また、口座振替についても、積極的に進める。

4. 令和7年度を取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
【050児童扶養手当返還金(不正・不当利得)】 ・納付注意書、最終催告書を送付した結果、一部納付等なかった債権者の対して、預金調査等を行い、滞納処分を進めて行く。 ・債権の履行が滞っている債務者に催告状発送等の納付勧奨を行う。 ・債務者に対し口座振替を積極的に勧める。
【051児童扶養手当返還金(過誤分)】 ・債権の履行が滞っている債務者に催告状発送等の納付勧奨を行う。 ・債務者に対し口座振替を積極的に勧める。
未収金の発生抑制に向けた取組
【050児童扶養手当返還金(不正・不当利得)】 ・総合福祉システムから配信される福祉異動リストを活用する。 ・新規認定時や現況届辞に受給者のしおりを配布し、受給者へ制度の説明及び届出手続等の説明を徹底する。
【051児童扶養手当返還金(過誤分)】 ・総合福祉システムから配信される福祉異動リストを活用する。 ・新規認定時や現況届辞に受給者のしおりを配布し、受給者へ制度の説明及び届出手続等の説明を徹底する。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	こども青少年局	担当・事業所名	こども家庭課(要保護児童G)	債権整理番号(3ケタ)	040	債権区分	強制徴収公債権(強制公)	債権名	児童福祉施設徴収金
----	---------	---------	----------------	-------------	-----	------	--------------	-----	-----------

1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	A	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	---	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「ー」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

過年度分										現年度分							合計		
前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
ア ＝前年度ケ ^ハ	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)		ウ ^ニ	エ ^ニ	オ ^ニ	カ ^ニ ＝エ ^ニ ＋オ ^ニ	キ ^ニ ＝エ ^ニ ÷ウ ^ニ	ク ^ニ ＝カ ^ニ ÷ウ ^ニ	ケ ^ニ ＝ウ ^ニ － (エ ^ニ ＋オ ^ニ)	キ ^三 ＝(エ＋エ ^ニ) ÷(ウ＋ウ ^ニ)	ク ^三 ＝(カ＋カ ^ニ) ÷(ア＋ウ ^ニ)	ケ ^三 ＝ケ ^ニ ＋ケ ^ニ
A 令和4年度 実績	86,324	0	86,324	4,181	6,941	11,122	4.8%	12.9%	75,202	50,884	30,224	0	30,224	59.4%	59.4%	20,660	25.1%	30.1%	95,862
B 令和5年度 実績	95,862	592	95,270	5,547	8,493	14,632	5.8%	15.3%	81,230	60,021	34,831	0	34,831	58.0%	58.0%	25,190	26.0%	31.7%	106,420
C 令和6年度 修正目標	106,420	0	106,420	7,449	7,646	15,095	7.0%	14.2%	91,325	53,728	38,737	0	38,737	72.1%	72.1%	14,991	28.8%	33.6%	106,316
D 令和6年度 実績	106,420	783	105,637	5,936	10,815	17,534	5.6%	16.5%	88,886	57,871	37,141	0	37,141	64.2%	64.2%	20,730	26.3%	33.3%	109,616
E 令和7年度 計画	94,839	0	94,839	6,639	7,682	14,321	7.0%	15.1%	80,518	50,227	36,214	0	36,214	72.1%	72.1%	14,013	29.5%	34.8%	94,531
F 令和7年度 目標	109,616	0	109,616	7,673	8,750	16,423	7.0%	15.0%	93,193	56,259	40,562	0	40,562	72.1%	72.1%	15,697	29.1%	34.4%	108,890

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	94,531	令和8年度末	94,209	令和9年度末	93,945
--------	--------	--------	--------	--------	--------

3. 令和6年度を取組実績・課題・改善策など

令和6年度を取組実績
・各区担当者向け説明会の実施 ・各区へ事務指導を実施 ・財産調査を実施
課題と改善策
【課題】 ・児童福祉施設への入所の措置は、経済的理由ということを必ずしも必要とせず、児童が要保護という要件に該当すれば本市が入所措置をとるということから、保護者の理解を得にくい徴収金であるため、未収金が生じやすい。 ・各区児童福祉施設徴収金の従事職員は債権の回収をメイン業務としていないため、知識の習得・向上が困難。 【改善策】 ・保護者の理解を得るために、措置決定時の保護者説明の際に、こども相談センターでの周知徹底を図る。 ・各区担当者向けに、徴収金事務研修を実施。

4. 令和7年度を取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・各区担当者向け説明会の実施 ・各区へ事務指導を実施 ・財産調査を引き続き実施 ・財産調査の結果を活用した収納事務の実施
未収金の発生抑制に向けた取組
・保護者の理解を得るために、措置決定時の保護者説明の際に、こども相談センターでの周知徹底 ・措置決定の区への連携を速やかに行うよう、こども相談センターへ周知徹底 ・助産施設の徴収金について、出産育児一時金を活用した徴収方法の周知徹底

未収金目標及び具体取組内容調査

所属	環境局	担当・事業所名	斎場霊園担当	債権整理番号(3ケタ)	006	債権区分	非強制徴収公債権(非強公)	債権名	霊園手数料
----	-----	---------	--------	-------------	-----	------	---------------	-----	-------

1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	A	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	A
-----	---	-----	----	-------------	---

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「ー」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ ^ア	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)	ウ ^イ	エ ^イ	オ ^イ	カ ^イ ＝エ ^イ ＋オ ^イ	キ ^イ ＝エ ^イ ÷ウ ^イ	ク ^イ ＝カ ^イ ÷ウ ^イ	ケ ^イ ＝ウ ^イ － (エ ^イ ＋オ ^イ)	キ ^ア ＝(エ＋エ ^イ) ÷(ウ＋ウ ^イ)	ク ^ア ＝(カ＋カ ^イ) ÷(ア＋ウ ^イ)	ケ ^ア ＝ケ ^ア ＋ケ ^イ
A	令和4年度 実績	12,798	343	12,455	2,312	905	3,560	18.6%	27.8%	9,238	204,098	199,607	0	199,607	97.8%	97.8%	4,491	93.2%	93.7%	13,729
B	令和5年度 実績	13,729	1,053	12,676	2,349	1,215	4,617	18.5%	33.6%	9,112	173,973	170,963	0	170,963	98.3%	98.3%	3,010	92.9%	93.5%	12,122
C	令和6年度 修正目標	12,122	0	12,122	2,300	1,640	3,940	19.0%	32.5%	8,182	248,624	244,800	0	244,800	98.5%	98.5%	3,824	94.8%	95.4%	12,006
D	令和6年度 実績	12,122	119	12,003	2,851	1,106	4,076	23.8%	33.6%	8,046	234,200	230,293	0	230,293	98.3%	98.3%	3,907	94.7%	95.1%	11,953
E	令和7年度 計画	13,510	0	13,510	2,610	1,090	3,700	19.3%	27.4%	9,810	193,141	190,244	0	190,244	98.5%	98.5%	2,897	93.3%	93.9%	12,707
F	令和7年度 目標	11,953	0	11,953	2,306	1,478	3,784	19.3%	31.7%	8,169	225,941	222,325	0	222,325	98.4%	98.4%	3,616	94.4%	95.0%	11,785

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	12,707	令和8年度末	12,321	令和9年度末	11,780
--------	--------	--------	--------	--------	--------

3. 令和6年度を取組実績・課題・改善策など

令和6年度を取組実績
・過年度未収金に対する取組として、自宅訪問を実施(大阪市及び近郊市在住の債務者計53名)面会することができたのは17名であった。(面会率32%) ・面会できなかった債務者について、後日連絡が入ることもあり、最終的に20名から未収金を徴収することができた(徴収率38%)。 ・訪問を実施していない債務者については、郵送及び電話による納付交渉や、連絡が取れない場合は戸籍調査や相続人調査を行い、未収金の回収に努めた。 現年度の未収金に対する取組として、郵送及び電話による納付交渉を行うとともに、20年分を基本としている管理料について、納付困難者には5年分もしくは1年分での納付も認める措置を取る等した。また、使用者の死亡や所在不明に対して戸籍調査や相続人調査も行い、未収金徴収に努めた。
課題と改善策
【課題】 ・[過年度]自宅訪問による納付交渉は一定の成果が見られ、特に滞納期間が短い債務者は回収率が高い一方、長期滞納者の回収率は低い傾向にある。 ・[過年度]使用者死亡判明後、承継手続きが進まず滞納が解消されないケースが散見される。 ・[現年度]前回の納付から20年経過している使用者が多いため、管理料納付について認識していないケースや使用者情報が更新されていないケースが散見される。 【改善策】 ・[過年度]比較的回収率の高い、滞納期間が短い債務者に対する自宅訪問による納付交渉に注力することで回収率の上昇を図る。 ・[過年度]使用者の死亡が判明している場合、親族に対して承継や返還を促し、滞納解消に努める。 ・[現年度]管理料満期を迎える1年前及び3か月前に使用者に対して通知を行い、納付の必要性を事前に認識させる。 ・[現年度]管理料満期を迎える1年前及び3か月前に通知を行ったものの、書類の返送等があった場合は、戸籍調査や相続人調査を行い、使用者の状況把握に努める。

4. 令和7年度を取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・比較的回収率が高い、滞納期間が短い債務者に対する納付交渉(自宅訪問の実施等)に注力することで回収率の上昇を図るとともに、未収金額の増加防止に努める。 ・連絡が取れない債務者に対しては、戸籍調査や相続人調査を実施し、親族等による承継や返還を促していく。
未収金の発生抑制に向けた取組
・管理料満期を迎える1年前及び3か月前に使用者に対して通知を行い、納付の必要性を事前に認識させる。 ・上記の通知によって、書類の返送等があった場合は、戸籍調査や相続人調査を行い、使用者の状況把握に努める。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	都市整備局	担当・事業所名	住宅部管理課	債権整理番号(3ケタ)	002	債権区分	私債権	債権名	不正入居等損害金(管理担当)
----	-------	---------	--------	-------------	-----	------	-----	-----	----------------

1. 令和6年度の修正目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	----	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

過年度分										現年度分							合計		
前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
ア ＝前年度ケ''	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)		ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ'' ＝ケ＋ケ'
A 令和4年度 実績	977,642	3,336	974,306	21,174	28,315	52,825	2.2%	5.4%	924,817	37,206	6,129	0	6,129	16.5%	16.5%	31,077	2.7%	5.8%	955,894
B 令和5年度 実績	955,894	5,259	950,635	17,717	14,462	37,438	1.9%	3.9%	918,456	48,783	5,770	0	5,770	11.8%	11.8%	43,013	2.4%	4.3%	961,469
C 令和6年度 修正目標	961,469	1	961,468	20,190	26,500	46,691	2.1%	4.9%	914,778	49,281	7,540	0	7,540	15.3%	15.3%	41,741	2.7%	5.4%	956,519
D 令和6年度 実績	961,469	4,835	956,634	17,309	14,944	37,088	1.8%	3.9%	924,381	53,091	3,674	37	3,711	6.9%	7.0%	49,380	2.1%	4.0%	973,761
E 令和7年度 計画	950,739	0	950,739	14,261	30,000	44,261	1.5%	4.7%	906,478	44,000	6,732	0	6,732	15.3%	15.3%	37,268	2.1%	5.1%	943,746
F 令和7年度 目標	973,761	9,702	964,059	19,281	42,660	71,643	2.0%	7.4%	902,118	49,281	5,766	0	5,766	11.7%	11.7%	43,515	2.5%	7.6%	945,633

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	943,746	令和8年度末	936,858	令和9年度末	930,073
--------	---------	--------	---------	--------	---------

3. 令和6年度の取組実績・課題・改善策など

令和6年度の取組実績
【過年度】 ・退去滞納者や相続人で所在不明の者については、住民基本台帳との連携システムを活用するなど、定期的に住民情報の取得を行い、転居先の把握に努めてきた。 ・所在の判明している退去滞納者に対して、引き続き本市による督促や訪問員による現地訪問督促を実施してきた。督促を行うも支払いのない者に対しては速やかに債権回収を専門的に行っている弁護士法人への退去滞納催告委託案件としてきた。(令和6年度3月末時点委託案件回収額:15,949千円) ・分割納付を誓約している者については、常に履行状況を確認し不履行になった場合には速やかに委託先より催告を行ってきた。 ・委託先において催告を行うも支払いがない者に対しては、速やかに法的措置への移行を行ってきた。(令和6年度3月末時点債権差押申立件数:32件 取立件数:16件) ・破産で免責を受けたもの、相続人不存在のもの、相続人存否不明のもの、所在不明者に対する債権(債権額が10万円以上)について、議決を得て債権放棄を実施した。(21件:7,297,588円) ・破産で免責を受けたもの、相続人不存在のもの、所在不明者に対する債権(債権額が10万円未満)について、市長専決処分による債権放棄を実施した。(3件:217,032円) 【現年度】 ・損害金の発生を抑制する観点から、明渡訴訟移行前に出来るだけ即決和解の手続きに誘導する取組みを実施してきた。(令和6年度3月末時点即決和解申出件数:166件) ・住宅明渡の判決確定者に対し単純に強制執行を得っただけではなく、訪問員による現地訪問を実施し早期の自主退去を促し、損害金の発生を抑制する取組みを行ってきた。 ・強制執行について、執行補助受者と連携し、判決から断行までの期間の短縮に努めてきた。 ・東日本大震災避難者訴訟の一審判決で近傍家賃の2倍としていたものが、近傍同種家賃が妥当と判断されたため調定の変更を行った。(▲9,702千円)
課題と改善策
【課題】 ・損害金がある滞納者については、強制執行により退去した者が多数を占めるため、所在不明者の割合が高い。また所在が判明したものについても、支払意欲がないものが多い。
【改善策】 ・所在不明者については、定期的な住民票再取得など転居先の把握に努め督促強化に努める。 ・他都市の債権管理条例も参考にしながら、法的リスク審査、弁護士相談等を行い、徴収困難な債権については債権放棄の実施に向けた取組みを進める。

4. 令和7年度の取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度の取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・退去滞納者や相続人で所在不明の者については、引き続き定期的な住民票の取得を行うとともに、住民基本台帳との連携システムを活用し、早期の転居先の把握に努める。 ・所在の判明している退去滞納者に対して、引き続き文書督促や現地訪問督促を実施する。督促を行うも支払いのない者に対しては速やかに債権回収を専門的に行っている弁護士法人への退去滞納催告委託案件とする。 ・委託先より、保証人に対しても支払説得依頼通知を発送する。 ・分割納付を誓約している者については、常に履行状況を確認し不履行になった場合には速やかに委託先より催告を行う。 ・委託先において催告を行うも支払いがない者に対しては、速やかに法的措置への移行を図る ・破産などで免責を受けたもの、相続人不存在のもの、相続人存否不明のもの、所在不明者に対して引き続き債権放棄へ向けた手続きを進める。また、他都市の債権管理条例も参考にしながら徴収困難な債権については債権放棄の実施に向けた取組みを進める。
未収金の発生抑制に向けた取組
・損害金の発生を抑制する観点から、明渡訴訟移行前に出来るだけ即決和解の手続きに誘導する取組みを実施する。 ・住宅明渡の判決確定者に対し、単純に強制執行を待つだけではなく、訪問員による現地訪問を実施し、早期の自主退去を促し、損害金の発生を抑制する。 ・強制執行について、引き続き執行補助業者と連携し、判決から断行までの期間の短縮に努める。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	建設局	担当・事業所名	総務部経理課下水道使用料担当	債権整理番号(3ケタ)	001	債権区分	強制徴収公債権(強制公)	債権名	下水道使用料
----	-----	---------	----------------	-------------	-----	------	--------------	-----	--------

1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	A	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	---	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移(実績及び目標) … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

過年度分										現年度分							合計		
前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
ア ＝前年度ケ''	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)		ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ'' ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク'' ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ'' ＝ケ＋ケ'
A 令和4年度 実績	178,431	0	178,431	111,479	23,764	135,243	62.5%	75.8%	43,188	36,587,340	36,458,611	0	36,458,611	99.6%	99.6%	128,729	99.5%	99.5%	171,917
B 令和5年度 実績	171,917	0	171,917	116,144	8,944	125,088	67.6%	72.8%	46,829	37,542,249	37,419,370	0	37,419,370	99.7%	99.7%	122,879	99.5%	99.6%	169,708
C 令和6年度 修正目標	169,708	0	169,708	114,723	8,275	122,998	67.6%	72.5%	46,710	40,671,054	40,549,041	0	40,549,041	99.7%	99.7%	122,013	99.6%	99.6%	168,723
D 令和6年度 実績	169,708	0	169,708	118,763	9,629	128,392	70.0%	75.7%	41,316	41,299,019	41,168,928	0	41,168,928	99.7%	99.7%	130,091	99.6%	99.6%	171,407
E 令和7年度 計画	179,610	0	179,610	113,154	7,543	120,697	63.0%	67.2%	58,913	39,559,939	39,443,233	0	39,443,233	99.7%	99.7%	116,706	99.5%	99.6%	175,619
F 令和7年度 目標	171,407	0	171,407	114,328	6,622	120,950	66.7%	70.6%	50,457	38,472,195	38,356,778	0	38,356,778	99.7%	99.7%	115,417	99.6%	99.6%	165,874

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	175,619	令和8年度末	171,098	令和9年度末	167,638
--------	---------	--------	---------	--------	---------

3. 令和6年度を取組実績・課題・改善策など

令和6年度を取組実績
1 建設局徴収分 ・滞納処分の停止(15,747調定) ・預金全店照会機関の増(3機関→4機関) ・預金照会件数の増(360件→520件) ・関係部署(水道局・財政局など)との連携 2 水道局委任徴収分 ・水道局と情報共有をはかるため、収納対策会議を四半期ごとに開催し、未収金対策、大口滞納案件、債権放棄導入後の事務等について意見交換を行った ・委任徴収中の徴収困難案件について、共同督促の打ち合わせを随時開催した。(大口滞納3案件)
課題と改善策
【課題】 ・原油価格の上昇による電気・ガス料金等の高騰による、新たな滞納事案の発生の懸念。 ・納付交渉スキルや様々な債権に対応した滞納処分スキルの向上。 【改善策】 ・初期滞納の段階での水道局との更なる情報共有、連携強化する。 ・水道局委任徴収分においては、給水停止の実施を最大限に活用する。 ・外部研修受講後の、内部研修による職員の滞納処分スキル向上をはかる。

4. 令和7年度を取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・1 建設局徴収分 ・初期滞納者への架電・督促文書による督促強化 ・支払いの意思がない滞納者への滞納処分 ・無資力者、所在不明者、少額滞納者等の滞納処分停止 ・口座振替勧奨(約100件×2回) 2 水道局委任徴収分 ・水道局と情報共有をはかるための更なる連携強化 ・委任徴収中の徴収困難案件について、共同督促を実施
未収金の発生抑制に向けた取組
・水道局と連携し資力有無を調査し、資力のある滞納者については早期に督促および滞納処分を行う。 ・引き続き、水道局との情報共有、連携強化を図るため、両局の収納担当者による会議を定期的に行い、徴収困難案件については共同での督促を検討する。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	大阪港湾局	担当・事業所名	営業推進室管財課	債権整理番号(3ケタ)	006	債権区分	私債権	債権名	土地賃貸料(延滞金含む)
----	-------	---------	----------	-------------	-----	------	-----	-----	--------------

1. 令和6年度の修正目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	----	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	ウ'	エ'	オ'	カ'	キ'	ク'	ケ'	キ''	ク''	ケ''
		＝前年度ケ''	＝ア－ウ ▲＝増加を表す				＝イ＋エ＋オ	＝エ÷ウ	＝カ÷ア	＝ウ÷(エ＋オ)				＝エ'＋オ'	＝エ'÷ウ'	＝カ'÷ウ'	＝ウ'－ (エ'＋オ')	＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	＝ケ＋ケ'
A	令和4年度 実績	141,318	78	141,240	903	0	981	0.6%	0.7%	140,337	5,251,856	5,250,682	0	5,250,682	100.0%	100.0%	1,174	97.4%	97.4%	141,511
B	令和5年度 実績	141,511	0	141,511	2,371	0	2,371	1.7%	1.7%	139,140	5,203,324	5,201,359	0	5,201,359	100.0%	100.0%	1,965	97.4%	97.4%	141,105
C	令和6年度 修正目標	141,105	0	141,105	1,353	5,197	6,550	1.0%	4.6%	134,555	5,414,671	5,414,671	0	5,414,671	100.0%	100.0%	0	97.5%	97.6%	134,555
D	令和6年度 実績	141,105	0	141,105	1,046	5,197	6,243	0.7%	4.4%	134,862	5,187,568	5,185,698	231	5,185,929	100.0%	100.0%	1,639	97.3%	97.4%	136,501
E	令和7年度 計画	139,037	0	139,037	233	5,197	5,430	0.2%	3.9%	133,607	5,198,869	5,198,869	0	5,198,869	100.0%	100.0%	0	97.4%	97.5%	133,607
F	令和7年度 目標	136,501	1	136,500	3,075	0	3,076	2.3%	2.3%	133,425	5,009,342	5,009,342	0	5,009,342	100.0%	100.0%	0	97.4%	97.4%	133,425

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	133,607	令和8年度末	133,374	令和9年度末	133,141
--------	---------	--------	---------	--------	---------

3. 令和6年度を取組実績・課題・改善策など

令和6年度を取組実績
・回収見込の少ない案件についても、戸籍謄本の公用請求や預金調査、定期的な架電等それぞれの状況に合わせた対応を行った。 ・賃貸借契約の続いている者については、滞納が判明してから速やかに架電し、接触を試みた。滞納者との交渉がうまくいかない場合は、連帯保証人への連絡を行った。 ・令和6年度中に時効を迎える回収見込のない債権について、債権放棄に向けて弁護士への調査委託や市会へ議案を提出し不納欠損処分とした。
課題と改善策
【課題】 ・賃貸借契約の続いている者について、経済的困窮を理由に、賃貸料が納入期限までに納入されなかった。 【改善策】 ・賃貸借契約の続いている者が滞納した場合、連帯保証人含めて継続的な架電を行い、先方に対し回収に向けた姿勢を見せる。

4. 令和7年度を取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・賃貸借契約の続いている者については、滞納が判明してから速やかに架電し、接触を試みる。滞納者との交渉がうまくいかない場合は、連帯保証人への連絡を行う。 ・回収見込のない債権について、必要に応じ弁護士へ相談を行う。
未収金の発生抑制に向けた取組
・賃貸借契約中の者について、引き続き、滞納が判明してから速やかに納付勧奨を行う。

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	大阪港湾局	担当・事業所名	営業推進室管財課	債権整理番号(3ケタ)	007	債権区分	私債権	債権名	土地賃貸料相当損害金等
----	-------	---------	----------	-------------	-----	------	-----	-----	-------------

1. 令和6年度の修正目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	----	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

		過年度分								現年度分							合計			
		前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ ^ア	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)	ウ ^イ	エ ^イ	オ ^イ	カ ^イ ＝エ ^イ ＋オ ^イ	キ ^イ ＝エ ^イ ÷ウ ^イ	ク ^イ ＝カ ^イ ÷ウ ^イ	ケ ^イ ＝ウ ^イ － (エ ^イ ＋オ ^イ)	キ ^ア ＝(エ＋エ ^イ) ÷(ウ＋ウ ^イ)	ク ^ア ＝(カ＋カ ^イ) ÷(ア＋ウ ^イ)	ケ ^ア ＝ケ ^イ ＋ケ ^イ
A	令和4年度実績	82,594	0	82,594	33	0	33	0.0%	0.0%	82,561	22,944	22,944	0	22,944	100.0%	100.0%	0	21.8%	21.8%	82,561
B	令和5年度実績	82,561	0	82,561	18	0	18	0.0%	0.0%	82,543	36,580	36,580	0	36,580	100.0%	100.0%	0	30.7%	30.7%	82,543
C	令和6年度修正目標	82,543	0	82,543	27	5,789	5,816	0.0%	7.0%	76,727	8,165	8,165	0	8,165	100.0%	100.0%	0	9.0%	15.4%	76,727
D	令和6年度実績	82,543	0	82,543	6	5,790	5,796	0.0%	7.0%	76,747	42,054	29,788	12,259	42,047	70.8%	100.0%	7	23.9%	38.4%	76,754
E	令和7年度計画	82,226	0	82,226	0	5,789	5,789	0.0%	7.0%	76,437	0	0	0	0	－	－	0	0.0%	7.0%	76,437
F	令和7年度目標	76,754	0	76,754	229	0	229	0.3%	0.3%	76,525	7,129	7,129	0	7,129	100.0%	100.0%	0	8.8%	8.8%	76,525

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	76,437	令和8年度末	76,437	令和9年度末	76,437
--------	--------	--------	--------	--------	--------

3. 令和6年度を取組実績・課題・改善策など

令和6年度を取組実績
・回収見込の少ない案件についても、不動産の公用請求や預金調査、定期的な架電等それぞれの状況に合わせた対応を行った。 ・履行延期の特約の締結に向けた協議が整わない者について、市債権回収アドバイザー弁護士への相談を行った。 ・令和6年度中に時効を迎える回収見込のない債権について、債権放棄に向けて弁護士への調査委託や市会へ議案を提出し不納欠損処分とした。
課題と改善策
【課題】 ・履行延期の特約を結ぶ予定だった者について、経済的困窮や就労状況の不安定を理由に、交渉が次年度以降に引き延ばしとなった。
【改善策】 ・履行延期の特約を結ぶ場合は、粘り強く納付交渉を行い、交渉中であっても時効が進行しないよう、少なくとも年に一度は一括での請求を行う。

4. 令和7年度を取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標（＝未収金残高目標）の達成状況」及び「3. 令和6年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・履行延期の特約の締結に向けた協議が整わない者について、定期的に連絡し、納付勧奨を行う。
未収金の発生抑制に向けた取組
・現年度の未収金は発生した場合は、速やかに納付勧奨を行う。

未収金目標及び具体取組内容調査

所属	水道局	担当・事業所名	お客さまサービス課	債権整理番号(3ケタ)	001	債権区分	私債権	債権名	給水料
----	-----	---------	-----------	-------------	-----	------	-----	-----	-----

1. 令和6年度の修正目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	----	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

過年度分										現年度分							合計		
前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定繰減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高		調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
ア ＝前年度ケ ^㉒	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ÷(エ＋オ)		ウ'	エ'	オ'	カ' ＝エ'＋オ'	キ' ＝エ'÷ウ'	ク' ＝カ'÷ウ'	ケ' ＝ウ'－ (エ'＋オ')	キ ^㉓ ＝(エ＋エ') ÷(ウ＋ウ')	ク ^㉓ ＝(カ＋カ') ÷(ア＋ウ')	ケ ^㉓ ＝ケ＋ケ'
A 令和4年度実績	162,552	▲ 721	163,273	75,931	15,035	90,245	46.5%	55.5%	72,307	56,378,103	56,314,256	0	56,314,256	99.9%	99.9%	63,847	99.7%	99.8%	136,154
B 令和5年度実績	136,154	1,123	135,031	69,942	10,907	81,972	51.8%	60.2%	54,182	58,211,707	58,154,480	0	58,154,480	99.9%	99.9%	57,227	99.8%	99.8%	111,409
C 令和6年度修正目標	111,409	0	111,409	59,158	9,915	69,073	53.1%	62.0%	42,336	62,426,880	62,364,453	0	62,364,453	99.9%	99.9%	62,427	99.8%	99.8%	104,763
D 令和6年度実績	111,409	▲ 2,197	113,606	47,338	12,196	57,337	41.7%	51.5%	54,072	64,167,695	64,088,174	0	64,088,174	99.9%	99.9%	79,521	99.8%	99.8%	133,593
E 令和7年度計画	106,853	0	106,853	56,739	13,463	70,202	53.1%	65.7%	36,651	60,280,000	60,213,692	0	60,213,692	99.9%	99.9%	66,308	99.8%	99.8%	102,959
F 令和7年度目標	133,593	0	133,593	70,938	12,558	83,496	53.1%	62.5%	50,097	63,637,648	63,574,010	0	63,574,010	99.9%	99.9%	63,638	99.8%	99.8%	113,735

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	102,959	令和8年度末	100,413	令和9年度末	99,177
--------	---------	--------	---------	--------	--------

3. 令和6年度を取組実績・課題・改善策など

令和6年度を取組実績
①受託業者と、各事業所単位及びお客さまサービス課で実施している定例会において、受託業者の取組内容及び実績への反映状況を毎月確認している。 ②給水停止解除時には、納期限を超過したすべての未納料金等の完納を全事業所に周知徹底し、また、給水停止の執行ができない案件については、支払督促(法的措置)を視野に入れた督促を実施することで未収金の削減に努めている。③未収金回収特別チームの取扱案件における、現年度及び過年度調定に対する収入状況については、調定金額約1,043万円に対し約459万円(収入率44.0%)の回収を行っており、今後も更なる未収金の回収に向け鋭意督促を行っている。(上下水道料金では調定金額約1,567万円に対し、686万円の回収。)④建設局との定例会を四半期毎に開催するとともに、大口滞納案件等の情報及び状況は随時必要なタイミングで情報共有を行うことで連携強化を図っている。また徴収困難ケースを抽出し、共同督促を実施している。⑤住民票調査及び法務局調査について、対象案件発生時に迅速に行っている。⑥旧使用場所における料金未納を理由とした新使用場所の給水停止の実績は、お客さまに対して予告通知を行った件数が201件、その内105件は給水停止に至らず全額回収となり、残りの96件は給水停止を執行して全額回収となった。⑦滞納整理担当係長及び受託業者との定例会において、時効更新措置(督促記録の徹底及び債務の承認確認書の取得)の重要性を改めて周知するとともに、高額滞納案件の対応状況を個別に確認し、必要に応じて受託業者に対し指示を行った。⑧口座振替等普及率の向上に向けた取組として、お客さまより納入通知書の再発行依頼があった場合には、口座振替依頼書を同封している。(口座振替及びクレジット決済普及率:6年度3月末現在71.07%)
課題と改善策
【課題】 ・高額滞納案件等について、私法上の債権のため不動産や預金調査が難しく、法的措置への移行が困難なケースが多いが、可能な限りの調査を行い、粘り強く債務者との交渉を行う。
【改善策】 ・企業納付能力調査等を行い、資産が確認できた際は高額滞納案件の約束不履行者に対して訴訟、支払督促を含めた法的措置等を進めて行く。

4. 令和7年度を取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度を取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
①未納整理業務受託業者に対して、業務の適正な履行及び徴収率の向上に係る指導・監督を適時に行い、業務品質の向上に努める。 ②給水停止の執行ができない高額及び長期滞納案件に対して、事業所において、訴訟等の法的措置を視野に入れた督促を実施する。 ③未収金回収特別チームの取扱案件について、滞納料金の確実な回収並びに新たな未収金の発生を抑制しつつ、訴訟等の法的措置を視野に入れた督促を実施する。 ④建設局との情報共有を図ることを目的とした担当者会議を定期的に開催し、徴収困難となっている案件の未収金回収に向け、必要に応じて共同督促を実施する。 ⑤住民票調査及び法務局調査を実施する。 ⑥給水契約を中止し市内に転居したお客さまに対して、旧使用場所における料金未納を理由とした新使用場所の給水停止の執行を実施する。 ⑦滞納整理担当係長及び受託業者との定例会において、消滅時効を意識した回収計画の重要性を定期的に周知するとともに、高額滞納案件の対応状況を個別に確認し、必要に応じて受託業者に対し指示を行う。
未収金の発生抑制に向けた取組
・上記の取組を継続する。 ・「未収金の解消に向けた取組⑦」において、高額及び難航する案件については、個別に進捗状況の確認を行い、新たな未収金発生の抑制に努める。 ・口座振替等普及率の向上に向けた取組みを実施する。

未収金目標及び具体取組内容調書									
所属	教育委員会事務局	担当・事業所名	学校運営支援センター 学務担当	債権整理番号(3ケタ)	002	債権区分	私債権	債権名	学校給食費

1. 令和6年度の修正目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例) 令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度	A	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	----	-----	---	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

		過年度分									現年度分							合計			
		前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高	
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	ウ'	エ'	オ'	カ'	キ'	ク'	ケ'	キ''	ク''	ケ''	
		=前年度ケ''	=ア-ウ (▲=増加を表す)				=イ+エ+オ	=エ÷ウ	=カ÷ア	=ウ-(エ+オ)				=エ'+オ'	=エ'÷ウ'	=カ'÷ウ'	=ウ'- (エ'+オ')	= (エ+エ') ÷ (ウ+ウ')	= (カ+カ') ÷ (ア+ウ')	=ケ+ケ'	
A	令和4年度 実績	131,003		3	131,000	21,163	0	21,166	16.2%	16.2%	109,837	2,217,593	2,217,593	0	2,217,593	100.0%	100.0%	0	95.3%	95.3%	109,837
B	令和5年度 実績	109,837		0	109,837	12,307	239	12,546	11.2%	11.4%	97,291	649,979	649,979	0	649,979	100.0%	100.0%	0	87.2%	87.2%	97,291
C	令和6年度 修正目標	97,291		0	97,291	13,329	325	13,654	13.7%	14.0%	83,637	2,597,847	2,597,847	0	2,597,847	100.0%	100.0%	0	96.9%	96.9%	83,637
D	令和6年度 実績	97,291		0	97,291	7,282	325	7,607	7.5%	7.8%	89,684	2,377,226	2,377,226	0	2,377,226	100.0%	100.0%	0	96.4%	96.4%	89,684
E	令和7年度 計画	81,178		0	81,178	11,121	741	11,862	13.7%	14.6%	69,316	2,597,847	2,597,847	0	2,597,847	100.0%	100.0%	0	97.4%	97.4%	69,316
F	令和7年度 目標	89,684		0	89,684	8,430	0	8,430	9.4%	9.4%	81,254	2,640,462	2,640,462	0	2,640,462	100.0%	100.0%	0	97.0%	97.0%	81,254

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	69,316	令和8年度末	59,820	令和9年度末	51,625
--------	--------	--------	--------	--------	--------

3. 令和6年度の取組実績・課題・改善策など

令和6年度の取組実績
・各学校と連携し、過年度債権について分納誓約など債務承認を得ることにより時効到来日の延期を図っている。 ・催告等の納付書を発送する際にページの利用案内と多言語での案内文を同封し、納付勧奨を強めた。 ・電話による催告を実施する際も、日中に連絡が取れない債務者に対し、夜間に電話したことにより納付に繋がったケースもあるので、引き続き取り組んだ。 ・コロナウイルス蔓延以降停止していた訪問催告(955件)を実施した。 ・時効を迎えた債権で回収困難なものについて債権放棄を進めるべく、モラルハザードを考慮の上、債権放棄をするための条件整備や実施時期について検討し、債権放棄(4件・325,374円)を行った。 ・預金調査について241名、税務調査について347名調査を行った。
課題と改善策
【課題】 ・未納者の中には再三の催告に対して、分納誓約書の提出や連絡もなく納付意思を示さないケースもある。 ・最新の住所を調査し、現地調査を行っても居所不明となっているケースがある。 ・ ・ ・ ・ 【改善策】 ・「令和7年度の取組内容による」 ・ ・

4. 令和7年度の取組内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度の取組内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
・各学校と連携し、過年度債権について分納誓約など債務承認を得ることにより時効到来日の延期を図る。 ・催告等の納付書を発送する際にページの利用案内と多言語での案内文を同封する。 ・催告による納付がなく電話連絡の取れない場合などに対して、現地訪問の取り組みを強化し、直接、保護者等と納付交渉を行う。 ・再三の催告にも反応せず納付意思を示さない未納者に対しての法的措置については、税務調査等で財産確認を行いながら、引き続き実施をしていく。 ・時効を迎えた債権で回収困難なものについて債権放棄を進めるべく、モラルハザードを考慮の上、債権放棄をするための条件整備や実施時期について検討し、できるものから債権放棄の手続きを進めていく。
未収金の発生抑制に向けた取組
・学校給食費の実質無償化を実施しているため新規未納は発生しない。 ・ ・

未収金目標及び具体取組内容調書

所属	教育委員会事務局	担当・事業所名	総務部学事課	債権整理番号(3ケタ)	008	債権区分	私債権	債権名	高等学校等奨学金貸付金返還金
----	----------	---------	--------	-------------	-----	------	-----	-----	----------------

1. 令和6年度の修正目標（＝未収金残高目標）の達成状況 … いずれかの記号を入力 ※修正目標 … 当年度当初に、前年度末の未収金残高の結果を踏まえて、当初目標を修正したもの

(例)令和7年度修正目標＝令和7年度当初に、令和6年度末の未収金残高の結果を踏まえて、令和7年度当初目標を修正したもの

過年度	B1	現年度	B1	合計(過年度＋現年度)	B1
-----	----	-----	----	-------------	----

「A」… 目標達成、「B1」… 取組みは予定通り実施したが目標は未達、「B2」… 取組みを予定通り実施できず目標も未達、「－」… 当年度中に新規発生した債権のため、前年度時点で目標未設定

2. 未収金の推移（実績及び目標） … 色付け箇所のみ、百円単位を四捨五入した、千円単位の整数 ※当初目標 … 前年度中に設定する当年度の目標

(単位:千円)

		過年度分									現年度分							合計		
		前年度からの 調定繰越額	年度中の 調定減少額	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	調定額	徴収額	不納欠損額	整理額	徴収率	整理率	未収金残高	徴収率	整理率	未収金残高
		ア ＝前年度ケ ^㉞	イ ＝ア－ウ (▲＝増加を表す)	ウ	エ	オ	カ ＝イ＋エ＋オ	キ ＝エ÷ウ	ク ＝カ÷ア	ケ ＝ウ－(エ＋オ)	ウ ^㉞	エ ^㉞	オ ^㉞	カ ^㉞ ＝エ ^㉞ ＋オ ^㉞	キ ^㉞ ＝エ ^㉞ ÷ウ ^㉞	ク ^㉞ ＝カ ^㉞ ÷ウ ^㉞	ケ ^㉞ ＝ウ ^㉞ － (エ ^㉞ ＋オ ^㉞)	キ ^㉞ ＝(エ＋エ ^㉞) ÷(ウ＋ウ ^㉞)	ク ^㉞ ＝(カ＋カ ^㉞) ÷(ア＋ウ ^㉞)	ケ ^㉞ ＝ケ ^㉞ ＋ケ ^㉞
A	令和4年度実績	42,517	1,189	41,328	1,835	341	3,365	4.4%	7.9%	39,152	8,396	6,706	0	6,706	79.9%	79.9%	1,690	17.2%	19.8%	40,842
B	令和5年度実績	40,842	464	40,378	2,522	1,023	4,009	6.2%	9.8%	36,833	10,094	7,839	0	7,839	77.7%	77.7%	2,255	20.5%	23.3%	39,088
C	令和6年度修正目標	39,088	4,668	34,420	859	966	6,493	2.5%	16.6%	32,595	9,127	7,301	0	7,301	80.0%	80.0%	1,826	18.7%	28.6%	34,421
D	令和6年度実績	39,088	1,442	37,646	1,213	759	3,414	3.2%	8.7%	35,674	9,890	7,770	0	7,770	78.6%	78.6%	2,120	18.9%	22.8%	37,794
E	令和7年度計画	32,545	4,410	28,135	973	3,048	8,431	3.5%	25.9%	24,114	8,473	6,863	0	6,863	81.0%	81.0%	1,610	21.4%	37.3%	25,724
F	令和7年度目標	37,794	5,785	32,009	1,213	966	7,964	3.8%	21.1%	29,830	8,895	7,116	0	7,116	80.0%	80.0%	1,779	20.4%	32.3%	31,609

(参考)未収金残高の中期目標

令和7年度末	25,724	令和8年度末	25,265	令和9年度末	24,611
--------	--------	--------	--------	--------	--------

3. 令和6年度の実績・課題・改善策など

令和6年度の実績
○過年度分 ・令和7年3月末までに、4名の債務者と繰返し手続の交渉を行い、返還期限変更手続の申請を行っていない者を22名(いずれも返還免除対象者)まで減少させた。 ・民事執行法第197条第1項第2号に基づく預貯金債権等の情報取得手続により差押可能財産の調査を行うとともに、1件276千円について時効の更新を行った。 ・1名の債務者について、破産免責により431千円の債権放棄を行った。 ・1名の債務者からの時効援用をうけて、328千円の不納欠損を行った。 ・夏季及び冬季賞与時の納付督促の取組みにより、15名の債務者から411千円の納付があった。 ・債務者の親の自宅への訪問及び納付交渉を行い、1名の債務者について、11千円を回収し完済させた。 ・履行延期が10年継続している者の地方自治法施行令第171条の7第1項に基づく債務免除について、行政手続条例第5条第1項の規定に基づき審査基準を定立した。 ・大手インターネット専業銀行に対して、地方自治法第240条第2項及び債務名義に基づく預貯金調査への回答可否を調査し差押可能財産の発見に努めた。 ○現年度分 ・1名の債務者について、破産免責により納期限未到来の債権254千円の債権放棄を行い、未収金が発生するリスクを削減した。 ・夏季及び冬季賞与時の納付督促の取組みにより、1名の債務者から28千円の納付があった。 ・滞納者に危機感をもたらすような工夫(債務者の注意をひく色付き封筒の使用及び封筒表面への印字、簡易書留や配達記録等郵便方法の使い分け、短期間での連続した文書送付等)をした督促を行うことで、11名の債務者から327千円を回収した。 ・債務者の保護者自宅への訪問及び納付交渉を行い、1名の債務者について、119千円を回収し完済させた。 ・令和7年3月末現在で、新条例施行時に2,375,570千円あった債権(20年で処理予定)のうち、89.8%にあたる2,134,444千円の債権処理を完了した。
課題と改善策
【課題】 ①過年度分・現年度分共通 ・本人及び保護者と連絡がとれない滞納者について、文書送付以外の接触を図る必要がある。 ②過年度分のみ ・返還期限変更未申請者については、制度説明の対象をこれまでの保護者から本人へ切り替え、粘り強い訪問や繰り返しの文書送付により返還期限変更の申請は一定進んだものの、一方で、繰返し訪問や説明を行っても連絡が取れなかったり制度への理解が得られなかったりする等、申請に至らない債務者が残っている。 【上記に対する改善策】 ①過年度分・現年度分共通 ・積極的な自宅訪問等により本人及び保護者との接触を図る。 ② 過年度分のみ ・引き続き人権上の配慮をしながら本人及び保護者に対して、遠隔地、夜間及び休日も含めた自宅等の訪問による丁寧な制度説明を行い、申請を行うよう働きかける。

4. 令和7年度の実績内容 … 「1. 令和6年度の修正目標(＝未収金残高目標)の達成状況」及び「3. 令和6年度の実績内容の検証など」の内容を踏まえて記載

未収金の解消に向けた取組
○過年度分・現年度分共通 ・夏季及び冬季賞与時の納付督促の取組みを強化する。 ・債務名義取得者で未納の者に対しては、督促・訪問指導によって任意弁済を強く促すとともに、強制執行を見据えて差押可能財産の判明に努める等の債権回収に実効性のある取組を引き続き実施する。 ○過年度分のみ ・返還期限変更未申請者に対しては、引き続き人権上の配慮をしながら本人及び保護者に対して、遠隔地、夜間及び休日も含めた自宅等の訪問を通じて丁寧な制度説明を行い、申請を行うよう働きかける。 ・これまでも返還を免除されていた債務者に対して、免除基準に該当せず返還を求めることとなった場合は、減収や扶養家族の増員等により再度免除基準に該当する可能性があることを説明するとともに、返還金を滞納した場合は遅延損害金が発生すること及び法的措置の可能性があることを十分に説明し、債務者が自主的に納付するよう意識付けを図る。 ・履行延期が10年継続している者について、地方自治法施行令第171条の7第1項に基づく債務免除を検討する。
未収金の発生抑制に向けた取組
・これまで返還を免除されていた債務者については、免除申請がないまま返還期限が到来し新たな未収金が生じることのないよう、文書送付により申請勧奨を行う。また、複数回にわたる文書による申請勧奨に応じない債務者については、遠隔地、夜間及び休日も含めた居所への訪問を行い、申請を強く働きかける。 ・これまでも返還を免除されていた債務者に対して、免除基準に該当せず返還を求めることとなった場合は、減収や扶養家族の増員等により再度免除基準に該当する可能性があることを説明するとともに、返還金を滞納した場合は遅延損害金が発生すること及び法的措置の可能性があることを十分に説明し、債務者が自主的に納付するよう意識付けを図る。 ・返還金が遅滞なく安定的に納付されるよう、初回請求から一定期間は納付状況を注視し、滞納が生じた場合は速やかに督促状を送付するとともに債務者に対し 強く納付を求める。